



LCD モニター

# ユーザー ガイド

プログラミングモニター | RD シリーズ

## 著作権

Copyright © 2026 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

## 免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

BenQ ちらつき防止技術は、モニターのちらつきの主な原因を消去し、DC 調光による安定したバックライトを提供することで、目に優しい環境を実現します。フリッカーフリーの性能は、ケーブルの品質、電源の安定度、信号への干渉の有無、アースの品質等の外的要素をはじめ、さまざまな要素により影響を受けます。(フリッカーフリーモデルのみが該当します。)

# 製品サポート

常に最新かつ正確な情報をお客様にお届けするために、内容が予告なく変更される場合があります。本書の最新版および、ホーム他の製品情報はホームページでご覧いただけます。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域/国によって異なります。
  - ユーザーマニュアルおよび関連ドキュメント
  - ドライバとアプリケーション
  - (EUのみ) 解体について：ユーザーマニュアルのダウンロードページからご覧いただけます。本書は規定 (EU) 2019/2021 に基づき本機を修理またはリサイクルするために提供されています。保証期間内の補修については、必ずお住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。保証外の製品の補修を希望される方は、互換性を確保するために専門のサービススタッフにお問合せになり、BenQ からパーツを取り寄せるようお勧めします。お客様ご自身で解体する場合は、お客様ご自身の責任において行ってください。本機の解体に関する情報が見つからない場合は、お住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。

## ファームウェアのアップグレード

本製品を最高の状態でご利用いただくためには、最新のファームウェアバージョン（リリースされている場合）にアップグレードして、最新のユーザーマニュアルをご参照いただくようお勧めします。

モニターをアップグレードするには、BenQ のホームページから **Display QuickKit** ソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

- [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) > モデル名 > **Software & Driver**（ソフトウェアとドライバ）> **Display QuickKit**（モニターに互換性がある場合のみ）
- [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) > **Display QuickKit**（地域によって異なります）

モニターが起動すると、自動的に互換性がチェックされます。

詳細は、ソフトウェアのユーザーマニュアルをお読みください。

モニターが **Display QuickKit** と互換性がなく、ファームウェアの新しいバージョンがリリースされているかどうか分からない場合は、BenQ カスタマーサービスにお問合せください。

## 最新ソフトウェア

本製品に内蔵されたテクノロジーや機能に加え、製品の機能性を高めるためにさらに追加のソフトウェアアプリケーションもご用意してあります。指示に従って、BenQ ホームページからソフトウェアと使用説明書をダウンロードしてください。

### • Display Pilot 2

**Display Pilot 2** は、ディスプレイを正確に調整してあなたにぴったりのモニター構成を簡単に保存し、使用できるようにするソフトウェアユーティリティです。すべての要素はソフトウェアで調整できますので、モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) を使用する必要がありません。

EPREL 登録番号：  
RD240Q : 1808422  
RD280U : 1867959  
RD280UA : 1867961

RD320U : 2034604  
RD320UA : 2034605

# Q&A インデックス

知りたいトピックを選択してください。

## セットアップ

### モニターを設定して電源を入れるには？

安全のために	6
モニターハードウェアの取り付け方法（スタンド付きのモデル）	24
モニターハードウェアの取り付け方法（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）	30
モニターの角度調節	39

### モニターの表示角度を調整するには？

表示角度の調整	41
---------	----

### モニターを壁に取り付けるには？

モニター取り付けキットの使用法（別売り）	42
----------------------	----

## 効率を高める便利なツール

### ディスプレイ設定を効率よく管理するには？

Display Pilot 2	3
-----------------	---

### コーディングホットキーおよびファンクションキーを使ってコーディングの生産性を高めるには？

ファンクションキーのカスタマイズ	45
クイックメニューで作業をする	46

### MoonHalo でいつでもフォーカスするには？

クイックメニューで MoonHalo を使用する（特定モデルのみ）	47
MoonHalo を使用する（特定モデルのみ）	47

### 席を離れる際、省エネやスクリーンプライバシーを保護することができますか？

スクリーンプライバシーの保護 (EcoPrivacy)	48
-----------------------------	----

### 2 台以上のモニターを接続してスクリーンスペースを広げるには？

MST（マルチストリーム転送）を使って複数のモニターを接続する	52
---------------------------------	----

### 1 組のキーボードとマウスで 2 台のコンピュータを操作するには？

キーボード、マウス、その他の USB 周辺機器を KVM と共有させる（特定モデルのみ）	54
--	----

### 画面を分割して 2 つの入力源から同時に画像を表示するには？

同時に 2 つの入力源を表示する (PBP/PIP)（特定モデルのみ）	55
-------------------------------------	----

### デュアルビューで 2 つのカラーモードを適用するには？

同時に 2 つのカラー設定を表示する (DualView Plus)（特定モデルのみ）	55
---	----

## 眼精疲労を軽減する機能

<b>非常に暗い環境でスクリーンの輝度を最小化するには？</b>	
夜間プロテクションで作業をする	48
<b>スクリーンの輝度を正しく設定するには？</b>	
画面の輝度の自動調整 (Brightness Intelligence Gen2)	49
<b>ディスプレイから照射されるブルーライトを低減するには？</b>	
ブルーライト軽減プラスで作業をする	49
<b>設定した時間が経過すると、休憩を促すメッセージが自動的に表示されますか？</b>	
アイ リマインダーを使って目を休める	49

## メニューとアクセサリ

<b>頻繁に使う機能やメニューのホットキーを設定できますか？</b>	
ファンクションキーのカスタマイズ	45
クイックメニューで作業をする	46
<b>OSD メニューの使い方</b>	
5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作	44
メインメニューのナビゲート	57

## メンテナンスと製品サポート

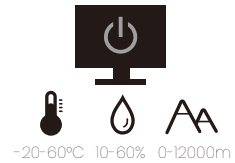
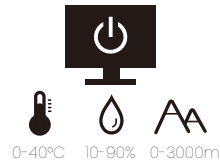
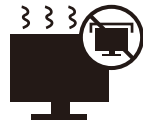
<b>モニターのお手入れ方法</b>	
お手入れと清掃	8
LCD スクリーンのお手入れ	11
<b>モニターを長期間使用しないときの保管方法</b>	
スタンドの取り外し (スタンド付きのモデル)	29
スタンドの取り外し (エルゴアームスタンド付きモデルの場合)	38
お手入れと清掃	8
<b>続けてサポートが必要です。</b>	
製品サポート	3
保守	9

# 安全のために

## 電源についての安全対策



モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。



- ・付属の電源コード以外のものは使用しないでください。
- ・付属した電源コードは本機以外の電気機器等では使用できません。
- ・機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続して使用してください。
- ・アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください、同梱した電源コードセットは本機以外の電気機器で使用できません。破損したり、磨耗したりしている電源コードは絶対にご使用にならないでください。
- ・（リモコンが付いている場合）指定された電池以外は使用しないでください。（液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。）使用済みの電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。
- ・モニターの原因となりますので、電源供給が安定しない場所でのご使用はお止めください。
- ・接地されたコンセントに電源コードを接続してからモニターの電源を入れてください。
- ・複数の差込口が付いた延長コードをご使用になる場合は、合計の電気負荷量にご注意ください。
- ・電源コードを外す前に必ずモニターの電源を切ってください。

アダプタ付きのモデル：

- ・本 LCD モニターに付属の電源アダプタだけをご使用ください。別のタイプの電源アダプタをご使用になると、故障の原因となり大変危険です。
- ・機器を操作したり、バッテリーを充電したりするためにアダプタを使用するときには、十分な通気を確保してください。電源アダプタを紙やその他の物で覆わないでください。キャリーケースに入れたままで電源アダプタをご使用にならないでください。
- ・電気アダプタを適切な電源に接続します。
- ・電源アダプタをお客様ご自身で補修することはお止めください。内部に補修可能なパーツは含まれていません。故障したり、濡れたりした場合には、本体を交換してください。

## 装着

- ・次のような場所ではモニターをご使用にならないでください。
  - ・気温が極度に高いまたは低い、あるいは直射日光が当たる場所
  - ・ホコリが立ちやすい場所
  - ・湿度が高い場所、雨に濡れやすい場所、水場の近く
  - ・自動車、バス、電車、その他の乗り物の中など、振動や衝撃を受けやすい場所

- ・ラジエーター、ヒーター、石油ストーブ、あるいは発熱源の近く（オーディオのアンプを含みます）などの加熱装置の近く
- ・適切な通気がない密閉された場所（クローゼットや本棚）
- ・不安定な場所、あるいは斜面
- ・化学物質や煙のあたる場所
- ・モニターの持ち運びには十分注意してください。
- ・モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- ・お子様がモニターにぶら下がったり、上ったりしないようにしてください。
- ・梱包材料はお子様手の届かない場所に保管してください。

## 操作

- ・視力を保護するために、ユーザーガイドをお読みになり最適なスクリーン解像度と表示距離に設定してください。
- ・目の疲労を縮減するために、モニターをご使用になるときには定期的に休憩を取ってください。
- ・長時間次のような行為はしないでください。焼けた痕が残る場合があります。
  - ・小さすぎてスクリーン全体に表示されない画像を再生します。
  - ・スクリーンに静止画を配置します。
- ・モニターにキズが付きますので、モニターパネルに直接指で触れたり、ペンや先が尖ったモノで触れたりしないでください。
- ・ビデオコネクタを頻繁に接続したり、取り外したりすることを繰り返すと、モニターの故障の原因となります。
- ・このモニターは主に個人使用を対象として設計されています。このモニターを公共の場や苛酷な環境でご使用になる場合は、お近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。
- ・電気ショックの原因となりますので、お客様ご自身でモニターを解体したり、修理したりしないでください。
- ・モニターから異臭がしたり、異常なノイズが聞こえたりした場合は、直ちにお近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。

## 注意

- ・モニターとの距離は、画面の対角線幅の 2.5 倍から 3 倍を目安にしてください。
- ・長時間スクリーンを見つめたまましていると、眼精疲労を生じさせ視力が低下する場合があります。1 時間作業を行うごとに 5～10 分間目を休めてください。
- ・遠くにある物を見つめることで、目の疲れを軽減できます。
- ・頻繁に瞬きをしたり、目の体操をするとドライアイを防止することができます。

## リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合）

- ・リモコンを直接熱源や高湿度の場所に置いたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ・リモコンを落とさないでください。
- ・リモコンを水や液体に濡らさないでください。そうしなければ、故障の原因となります。

- ・リモコンと製品のリモート センサーの間に物を置かないでください。
- ・リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーを外してください。

## バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合）

間違ったタイプのバッテリーをご使用になると、化学物質が漏れ出したり、爆発したりする恐れがあります。次の点に注意してください。

- ・バッテリーは必ず極性に注意して、正しい方向に挿入してください。
- ・バッテリーは種類によって異なる特性を持っています。異なる種類のバッテリーを混ぜて使用しないでください。
- ・古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用しないでください。古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用すると、バッテリーの寿命が短くなったり、古いバッテリーから液体が漏れ出したりする場合があります。
- ・バッテリーが破損している場合は、直ちに新しいものに交換してください。
- ・バッテリーから漏れ出した液体が肌に付着すると、皮膚に炎症を起こす場合があります。バッテリーから化学物質が漏れ出した場合は、すぐに乾いた布でふき取り、できるだけ早くバッテリーを交換してください。
- ・保管状況が異なるため、製品に挿入されているバッテリーの寿命が短くなっている場合があります。最初の使用から3カ月以内、あるいはできるだけ早く交換してください。
- ・古いバッテリーの処理、またはリサイクルについては、お住まい地域の規定に従ってください。お近くの行政機関、または廃棄物回収業者にお尋ねください。

付属のリモコンにボタン電池が入っている場合は、次の点にご注意ください。

- ・電池を飲み込まないようにご注意ください。化学物質により火傷をする危険性があります。
- ・本機に付属するリモコンにはボタン電池が入っています。ボタン電池を飲み込んでしまった場合は、2時間で内臓が火傷をする危険性があり、死に至ることもあります。
- ・未使用、使用済みに関わらず電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。バッテリーコンパートメントがしっかりと閉まっていない時には、製品のご使用を中止し、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・電池を飲み込んでしまったと思われる場合、または体内に入り込んでしまったと思われる場合は、直ちに病院を受診してください。

## お手入れと清掃

- ・床の上、または机の上に直接モニターを下向きに置かないでください。そうしなければ、パネル面にキズがつく恐れがあります。
- ・機器を操作する前に、建物構造にしっかりと固定されていなければなりません。
- ・（壁および天井取り付けに対応するモデル）
  - ・モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
  - ・壁の素材と標準の壁取り付けブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。
  - ・ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。
- ・清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニターの電源コードをはずしてください。モニターのお手入れ方法は、11 ページの「LCD スクリーンのお手入れ」を参照してください。

- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニターは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。
- モデル名、電力定格、製造日、バーコード、シリアル番号、ID 表示については、製品ラベルをご覧ください。ラベルの貼付位置はモデルにより異なります。ラベルの位置は下図でご確認ください。

通常の貼付位置：



## 保守

- 本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。
- 電源コード、接続ケーブル、リモコン、電源アダプタの交換については、BenQ カスタマーサービスにお問い合わせください。
- 購入店にお問い合わせになるか、[Support.BenQ.com](http://Support.BenQ.com) からお住まいの国のウェブサイトをご覧ください。



Support.BenQ.com




## 保証内容

次のいずれかの状況では、モニターの保証は無効となりますのでご注意ください。

- 保証に必要なドキュメントが許可されない使用により改ざんされた場合、または判読できない場合。
- 製品に記載されているモデル番号または製品番号が改ざん、削除、はがされた、あるいは判読できない場合。
- 許可されないサービス組織または人物により補修、変更、あるいは改変された場合。
- モニターを不適切な状態で保管したことに起因する破損（直射日光、水、火に当てた場合を含みますが、これらに限りません）。
- モニター以外の外部信号（アンテナ、ケーブル TV など）が原因で生じる受信問題。
- モニターの誤使用または濫用による故障。
- このモニターを対象販売エリア外でご使用になる場合は、ご使用になる前にモニターがその地域の技術規格に合っていることを確認してからご使用ください。そうしなければ製品が故障する場合があります、その場合の補修はお客様でご負担いただくことになります。

- ・製品出荷時に提供されていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題（データの消失またはシステムの不具合）が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。
- ・電気ショックや火災などの危険性がありますので、アクセサリ類（電源ケーブルなど）は装置に付帯されていたものだけをご使用ください。

## 表記

アイコン / 記号	アイテム	意味
	警告	誤用や不適切な操作、または行いによって生じるコンポーネントやデータへのダメージ、またはケガなどを防止するための情報です。
	ヒント	タスクを完了するための便利な情報です。
	注意	補足的情報です。

本書では、メニューを開くための手順は簡略化して記載されています。例：メニュー > システム > 情報。

# LCD スクリーンのお手入れ



モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

モニターパネルには特殊なアンチグレアコーティングが施されています。モニターは丁寧に  
にお使いになり、お手入れの際も十分にご注意ください。

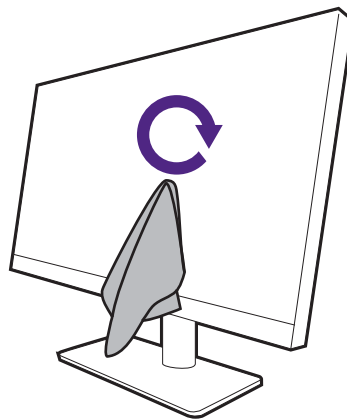
- ・モニタースクリーンに汚れが付着すると目立ちます。モニターを使用したり、お手入れ  
をしたりする際は、スクリーンに油や汚れが付着しないように注意してください。
- ・正しく使用した結果付着した指紋や汚れは、マイクロファイバー クロスで拭くことがで  
きます。
- ・スクリーンの表面を優しく丁寧に拭いてください。強くこするとスクリーンのコーティ  
ングが剥がれる場合があります。

スクリーン表面の正しいお手入れは、次の手順に従ってください。

## お手入れ用マイクロファイバー クロスの使い方（推奨）

モニタースクリーンのお手入れには、お手入れ用マイクロファイバー クロスをお使いに  
なることをお勧めします。これは再利用や洗濯が可能で、液体も不要なことから環境に優  
しいデザインとなっています。

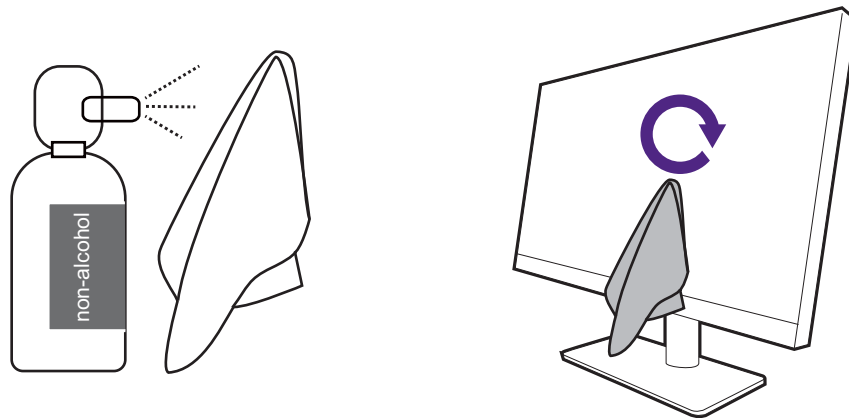
1. お手入れを行う前に、必ずコンセントからモニターの電源コードを外してください。
2. スクリーンを傷つけないように、お手入れ用クロスに尖った突起物が付着していない  
か確認してください。
3. モニターの端を持ち、スクリーンに圧力をかけ過ぎないようにご注意ください。
4. お手入れ用クロスは清潔で乾いた状態でお使いください。クロスのきれいな部分で汚  
れた部分を円を描くように優しく拭いてください。それでも汚れが落ちない場合は、  
手油が広がらないように注意しながらクロスのきれいな部分で拭き続けてください。  
クロスが両面が汚れてしまったら、クロスをきれいに洗って乾かしてください。



スクリーンの表面にクロスが模様になって残らないように、クロスでスクリーンを拭かないでく  
ださい。

5. 必要であれば、アルコールフリーのスクリーンクリーナーをほんの数滴お手入れ用ク  
ロスに落として、汚れた部分を円を描くように優しく拭いてください。詳細は、[12 ペ  
ージの「スクリーンクリーナーの使い方」](#)を参照してください。

6. クロスのきれいな部分でスクリーンを拭いて乾かしてください。それでも汚れが落ちない場合は、手油が広がらないように注意しながらクロスのきれいな部分で続けて拭いてください。スクリーンがきれいになるまでこの手順を続けてください。



7. クロスは数回ご使用になると汚れてしまい、スクリーンのお手入れができなくなります。洗剤で洗い、必要であればクロスに付着したゴミを手で取ってください。涼しい場所で乾燥させてください。完全に乾燥してからお使いください。

## スクリーンクリーナーの使い方

- 湿り気のあるアルコール成分を含まないスクリーンお手入れ用のワイパーをお使いください。油分や指紋を簡単に除去できます。
- アルコール成分を含まないスクリーンクリーナーキットをお使いください。スクリーンクリーナーキットに含まれるマイクロファイバークロスにスプレーしてスクリーンの汚れを拭きます。スクリーンに直接スプレーすることはお止めください。
- スクリーンとスクリーンの枠の隙間に液体が入らないようにご注意ください。モニター内部に液体が入ると、ショートする恐れがあります。



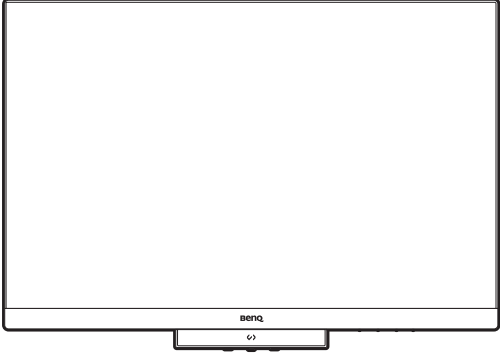
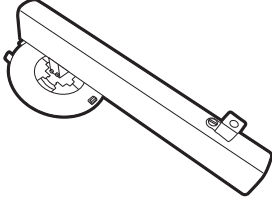
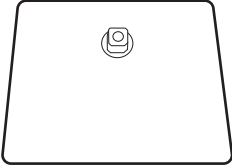
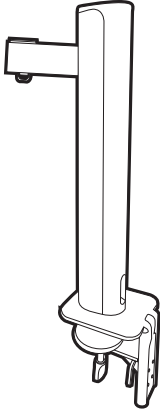
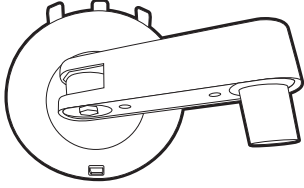

# 目次



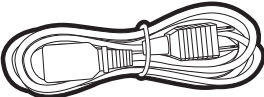
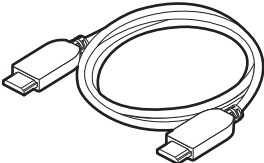
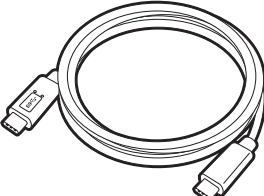
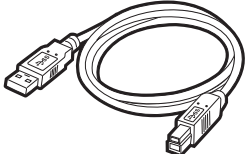
著作権 .....	2
製品サポート .....	3
ファームウェアのアップグレード .....	3
最新ソフトウェア .....	3
Q&A インデックス .....	4
安全のために .....	6
電源についての安全対策 .....	6
装着 .....	6
操作 .....	7
リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合） .....	7
バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合） .....	8
お手入れと清掃 .....	8
保守 .....	9
保証内容 .....	9
LCD スクリーンのお手入れ .....	11
お手入れ用マイクロファイバー クロスの使い方（推奨） .....	11
スクリーンクリーナーの使い方 .....	12
はじめに .....	15
モニターの外観 .....	17
前面ビュー .....	17
背面ビュー .....	18
接続 .....	20
モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー .....	23
モニターハードウェアの取り付け方法（スタンド付きのモデル） .....	24
スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル） .....	29
モニターハードウェアの取り付け方法（エルゴアームスタンド付きモデルの 場合） .....	30
取り付けオプション .....	30
組み立てる前に .....	30
セットアップ .....	33
スタンドの取り外し（エルゴアームスタンド付きモデルの場合） .....	38
モニターの角度調節 .....	39
モニターの高さ調節 .....	39
モニターを回転させる（特定モデルのみ） .....	39
表示角度の調整 .....	41
モニター取り付けキットの使用法（別売り） .....	42
モニターの調整 .....	43
ファンクションバー .....	43

5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作 .....	44
ファンクションキーのカスタマイズ .....	45
クイックメニューで作業をする .....	46
クイックメニューで <b>MoonHalo</b> を使用する (特定モデルのみ) .....	47
<b>MoonHalo</b> を使用する (特定モデルのみ) .....	47
夜間プロテクションで作業をする .....	48
スクリーンプライバシーの保護 ( <b>EcoPrivacy</b> ) .....	48
ブルーライト軽減プラスで作業をする .....	49
画面の輝度の自動調整 ( <b>Brightness Intelligence Gen2</b> ) .....	49
カラーユニバーサルモードを有効にする ( <b>カラーユニバーサルモード</b> ) .....	49
<b>アイリマインダー</b> を使って目を休める .....	49
画面モードの調整 .....	50
適切なカラーモードの選択 .....	50
各 <b>カラーモード</b> で選択可能なメニューオプション .....	50
MST (マルチストリーム転送) を使って複数のモニターを接続する .....	52
キーボード、マウス、その他の USB 周辺機器を KVM と共有させる (特定モデルのみ) .....	54
同時に 2 つの入力源を表示する (PBP/PIP) (特定モデルのみ) .....	55
同時に 2 つのカラー設定を表示する ( <b>DualView Plus</b> ) (特定モデルのみ) .....	55
接続した機器に USB-C™ ポートを介して充電する .....	56
メインメニューのナビゲート .....	57
<b>入力メニュー</b> (特定モデルのみ) .....	58
<b>表示メニュー</b> (特定モデルのみ) .....	59
<b>コーディング ブースターメニュー</b> .....	62
<b>Eye Care</b> メニュー .....	65
<b>カラーモードメニュー</b> .....	67
<b>オーディオメニュー</b> .....	70
<b>カスタムメニュー</b> .....	71
<b>システムメニュー</b> .....	72
トラブルシューティング .....	77
よくある質問 (FAQ) .....	77
それでも解決できないときは .....	81

## はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニター	
モニター スタンド (スタンド付きのモデル)	
モニターベース (スタンド付きのモデル)	
モニタースタンド (C クランプ、六角 レンチ付き) (エルゴアームスタンド付きモデルの場合)	
VESA プレート付きアッパーアーム (エルゴアームスタンド付きモデルの場合)	
クイック スタート ガイド	

安全にお使いいただくために	
準拠法規	
電源コード (付属アイテムはモデルや地域により異なります)	
ビデオケーブル：HDMI	
USB ケーブル：USB-C™	
USB ケーブル：USB-B から USB-A 変換	



- アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品とは異なる場合があります。また、パッケージの内容は将来予告なく変更される場合があります。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。
- モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニターを保護するのに適しています。
- アクセサリやケーブル等は、製品によって付属または別売りになる場合があります。

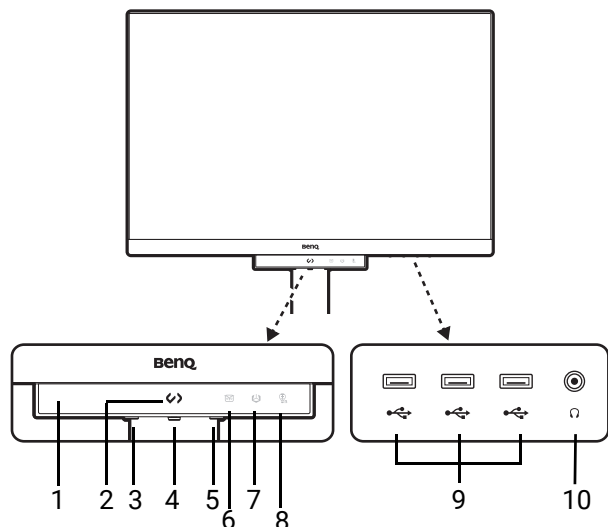


製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

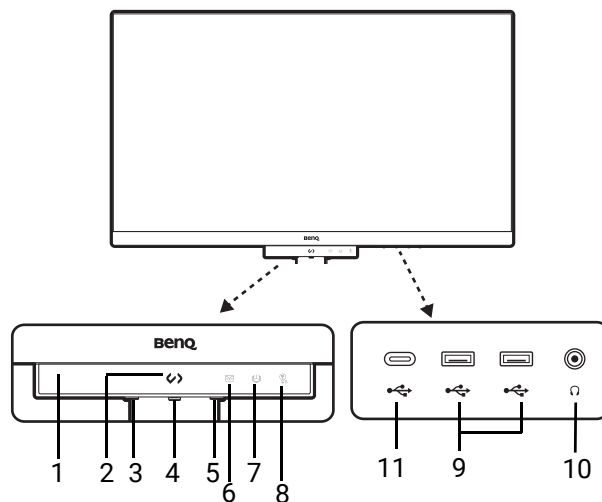
# モニターの外観

## 前面ビュー

RD240Q / RD280U(A)



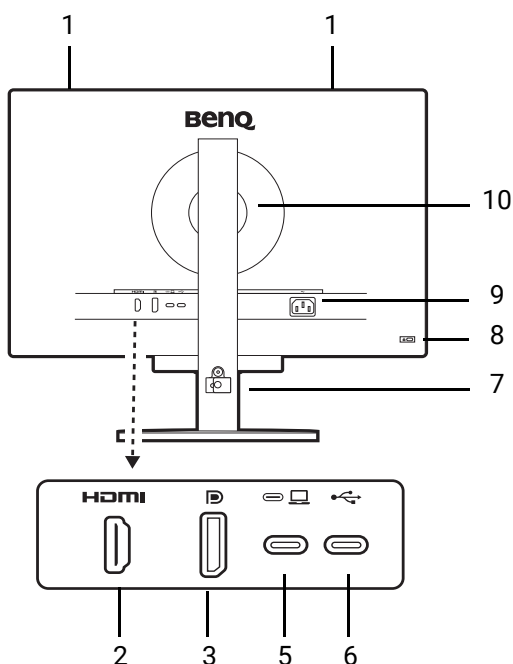
RD320U(A)



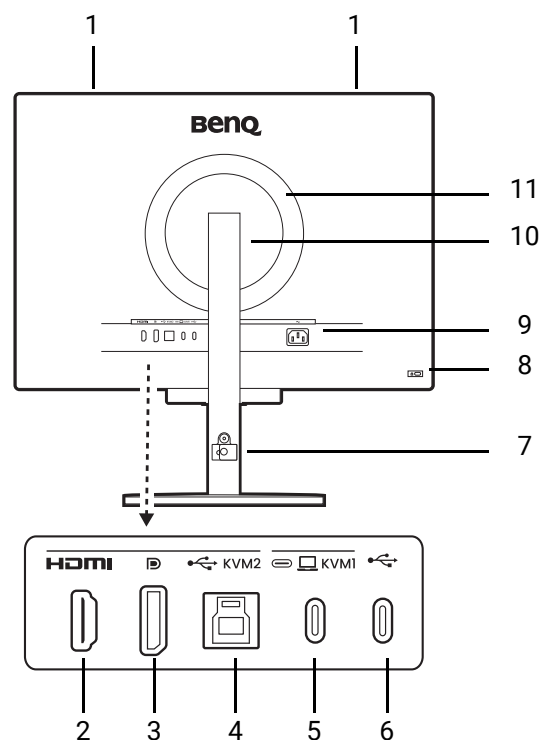
1. 接近センサー / ライトセンサー
2. コーディングホットキー
3. 電源ボタンおよび電源 LED インジケータ
4. 5ウェイ コントローラ
5. ファンクションキー
6. 夜間プロテクション LED インジケータ
7. B.I. Gen2 LED インジケータ
8. ブルーライト軽減プラス LED インジケータ
9. USB ポート (ダウンストリーム、USB デバイスに接続)
10. ヘッドフォンジャック
11. USB-C™ ポート (ダウンストリーム、USB デバイスに接続)

## 背面ビュー

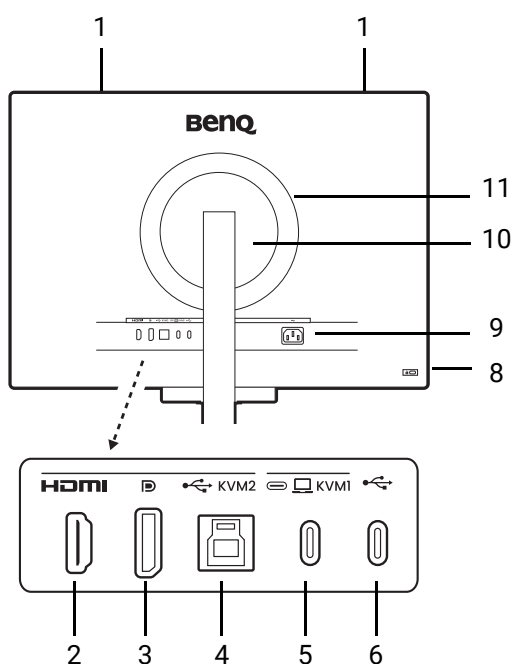
RD240Q



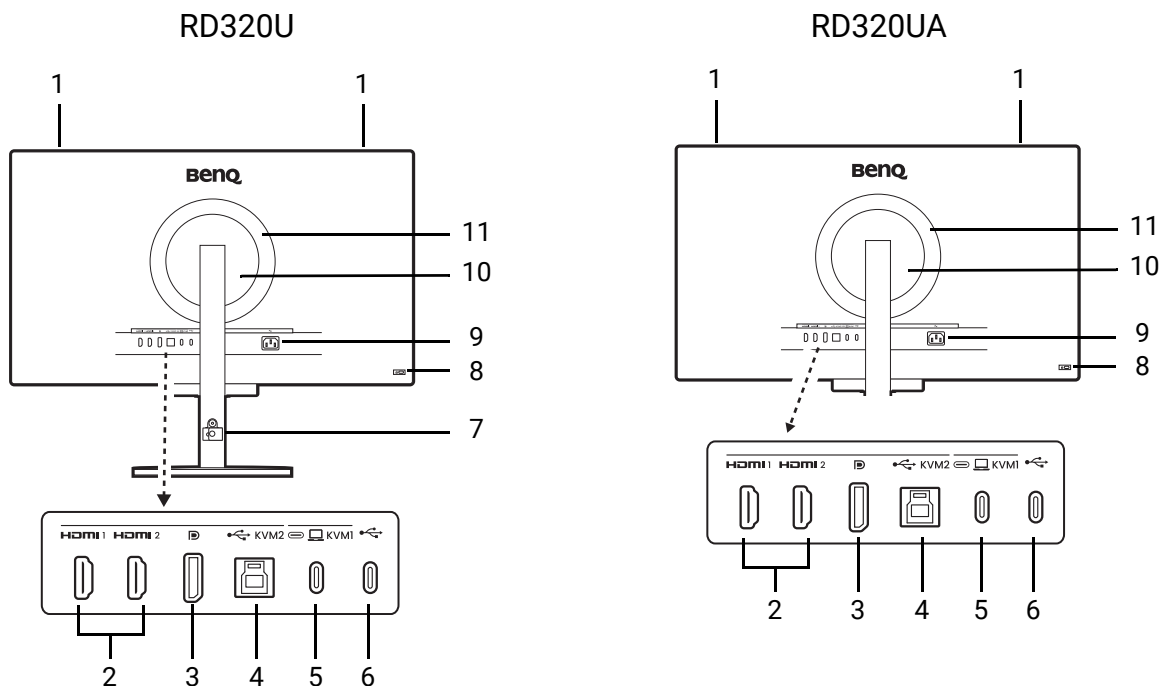
RD280U



RD280UA



1. スピーカー
2. HDMI ソケット
3. DisplayPort ソケット
4. USB 3.2 Gen1 Type-B ポート (アップストリーム、PC に接続)
5. USB-C™ ポート (ビデオ、データ転送および最大給電 90W)
6. USB-C™ ポート (MST、データ転送および最大給電 7.5 W)
7. ケーブルの整理
8. Kensington ロックスロット
9. AC 電源入力ジャック
10. VESA カバー
11. MoonHalo - LED ライト



- |  |                        |
|--|------------------------|
| 1. スピーカー                                     | 7. ケーブルの整理             |
| 2. HDMI ソケット                                 | 8. Kensington ロックスロット  |
| 3. DisplayPort ソケット                          | 9. AC 電源入力ジャック         |
| 4. USB 3.2 Gen1 Type-B ポート (アップストリーム、PC に接続) | 10. VESA カバー           |
| 5. USB-C™ ポート (ビデオ、データ転送および最大給電 90W)         | 11. MoonHalo - LED ライト |
| 6. USB-C™ ポート (データ転送および最大給電 7.5W)            |                        |



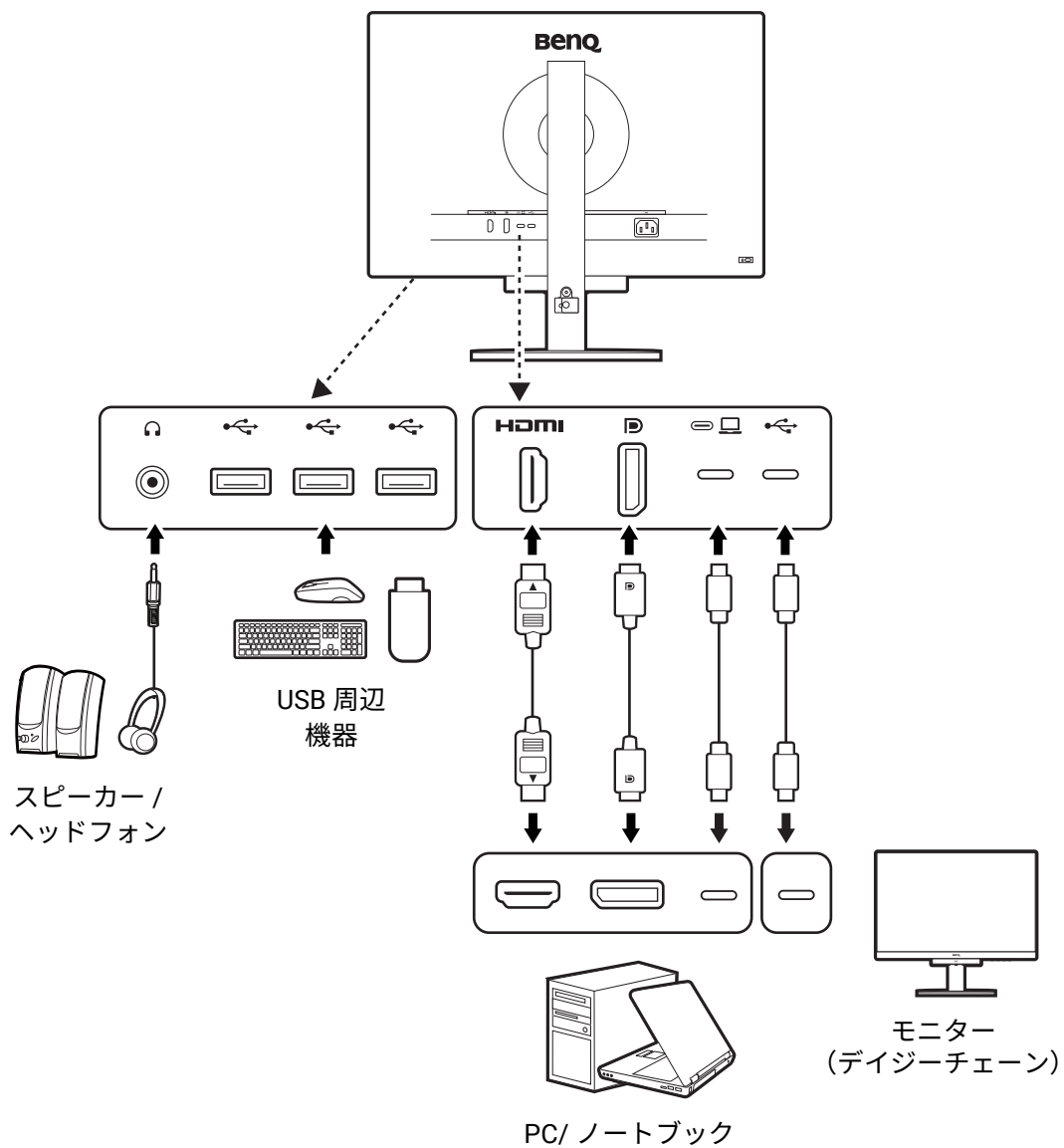
- USB データ転送速度は [74 ページの「USB-C 構成」](#) での選択により変わります。
- 製品仕様により、対応する解像度とタイミングは異なります。
- 上記の例はモデルにより異なります。
- 地域によって製品図が異なる場合があります。
- (白いケースの製品が対象) この製品のケースは、光による光酸化反応により、3年程度で黄色に変色する場合があります。これは正常な現象であり、製造上の欠陥ではありません。

## 接続

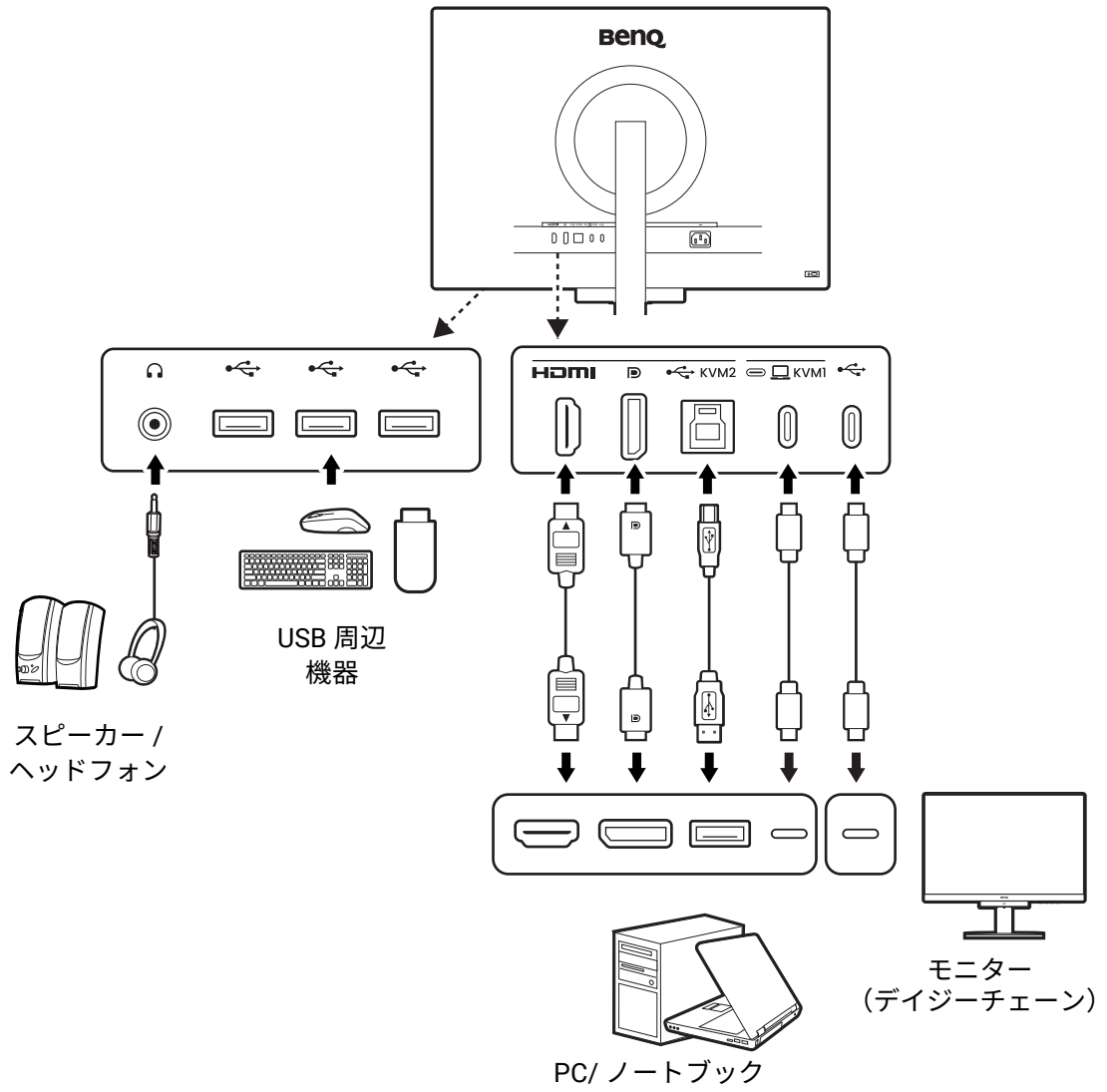
次の接続図は参照用です。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

接続方法についての詳細は、26 - 27 ページをお読みください。

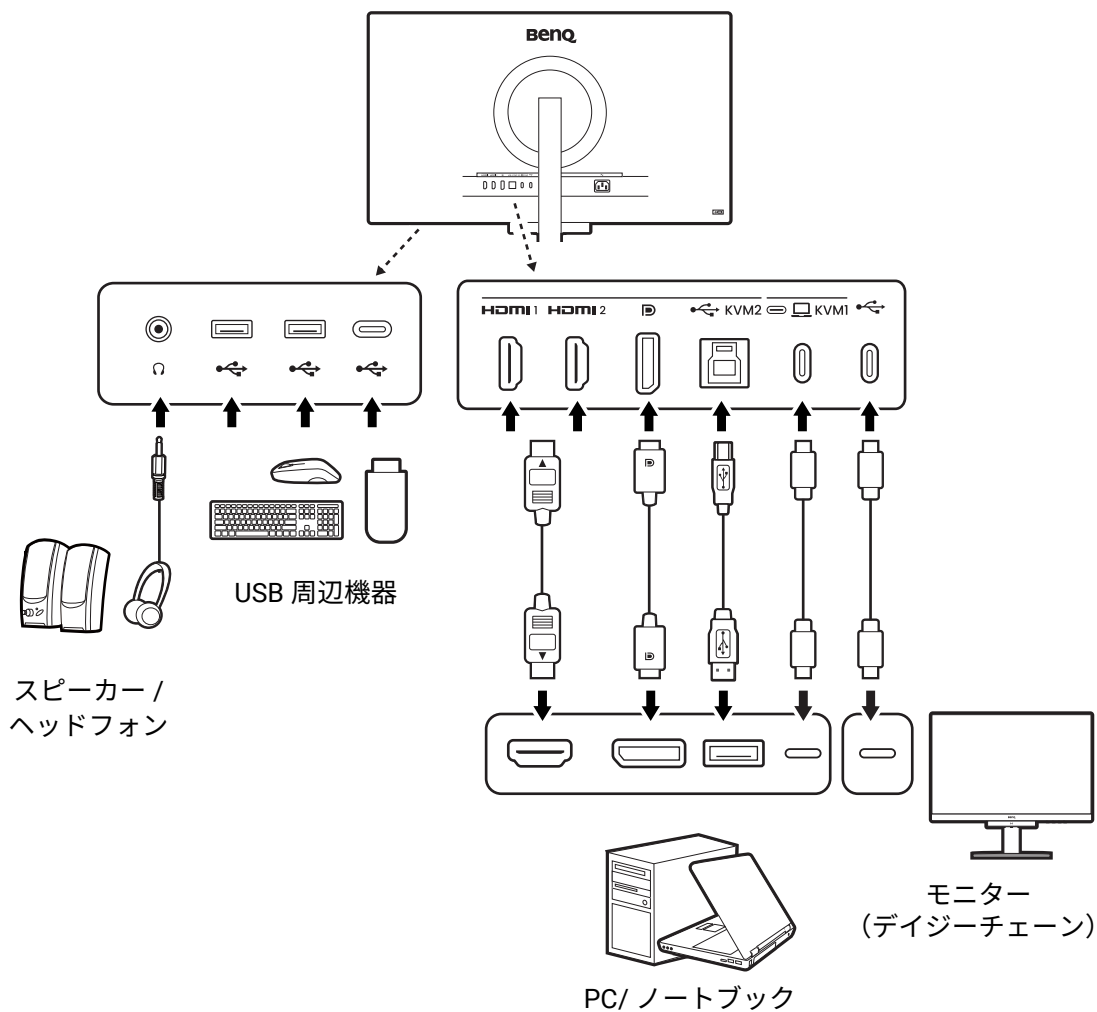
RD240Q



# RD280U(A)



# RD320U(A)



USB-C™ テクノロジーの制限により、USB 転送速度は選択したリフレッシュレートによってのみ決定されま  
す。詳細は、74 ページの「USB-C 構成」を参照してください。

## モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー

パワーデリバリー機能を使用すると、モニターは接続した USB-C™ デバイスに電力を供給することができます。

USB-C™ パワーデリバリー
5V / 3A
9V / 3A
12V / 3A
15V / 3A
20V / 4.5A

- 接続したデバイスには、USB パワーデリバリーによる充電機能に対応した USB-C™ コネクタが搭載されていなければなりません。
- モニターが省エネモードのときにも、接続したデバイスに USB-C™ ポートから充電することができます。 (\*)
- USB のパワーデリバリーは最大で 90W です。接続したデバイスが操作やブートアップに 90W 以上を必要とする場合は（電池が切れているとき）、正規の電源アダプタをお使いください。
- 情報は標準の試験条件に基づき参照用として提供しております。ご使用環境に違いがあるため、互換性を保証するものではありません。別途購入した USB-C™ ケーブルをご使用になる場合は、USB-IF 認証の電力供給およびビデオ / オーディオ / データ転送機能が付いたケーブルであるかご確認ください。



\*：電源復帰機能を有効にすると、モニターが省エネモード中に USB-C™ で充電することができます。  
システム > 電源復帰を開き、オンを選択します。

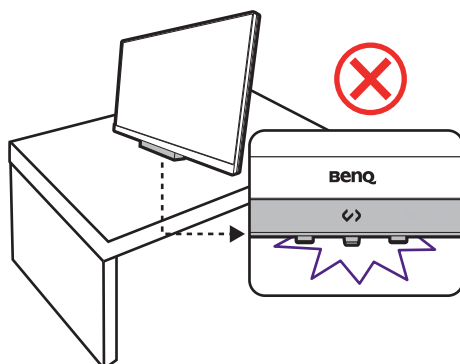
# モニターハードウェアの取り付け方法（スタンド付きのモデル）

• モニターベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行って下さい。モニターが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。また、モニターベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

• 次の画像は参照用です。出入力ジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。

！ スクリーンの表面を指で強く押さないでください。

！ スタンドアームとベースを取り付けない状態では、机の上や床の上にモニターを立てないでください。正面ベゼルの下部にあるコントロールは、モニターの重量を支えるように設計されておりませんので破損の原因となります。

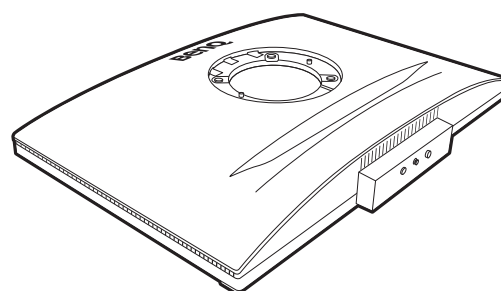


## 1. モニターベースを設置します。

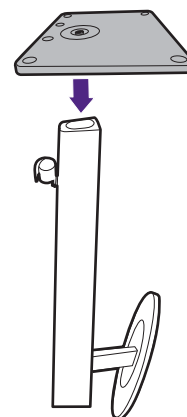
物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

モニターのお手入れは、モニターとスクリーンを保護するために安定した平らな場所で行い、衝撃防止用にモニターの梱包袋などの柔らかい素材を置いてください。

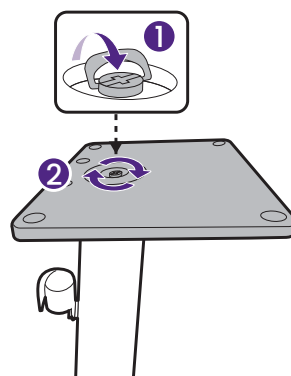
スクリーンを上向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所にゆっくりと寝かせてください。



図に示す通り、モニターベースにモニタースタンドを取り付けます。

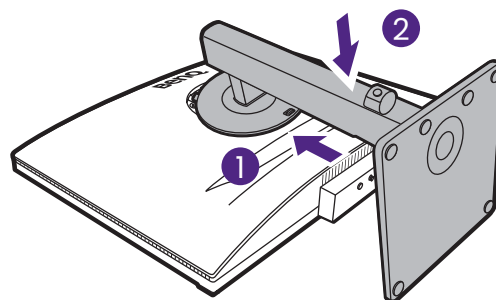


図に示すとおり、モニタースタンドの底面にある蝶ネジの蓋を開けて(①)、ネジを締めます(②)。蓋を押して元に戻します。

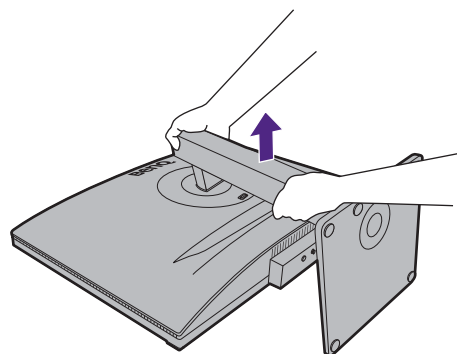


しっかりと固定されるとカチッという音がします。スタンドアームとモニターの向きを合わせて(①)、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください(②)。

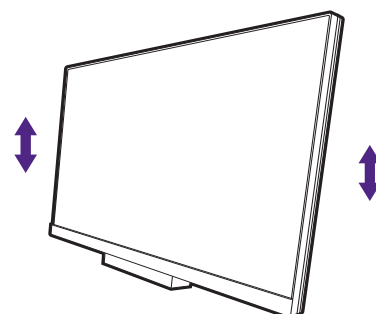
ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。



ゆっくりとモニターを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。モニターは必ずハンドルをお持ちください。

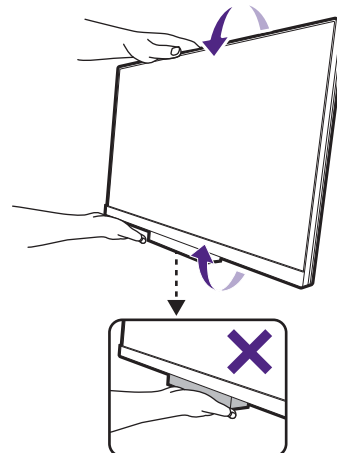


モニタースタンドの高さを調整したい場合があるかもしれません。詳細は、39ページの「モニターの高さ調節」を参照してください。





**!** ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面トッチバーは指で強く押さないでください。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニターの上部和下部に手を置いてください。

**💡** 照明の反射を最小限に留めるために、モニター的位置とスクリーンの角度を調整してください。



## 2. PC ビデオケーブルを接続します。

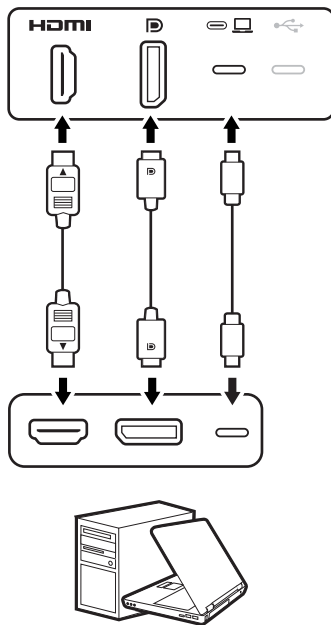
 製品に同梱されているビデオケーブルと右図に示すソケットは、お住まい地域で販売される製品によって異なる場合があります。

 簡単に接続できるように、固定機能のない DP ケーブルをお使いください。

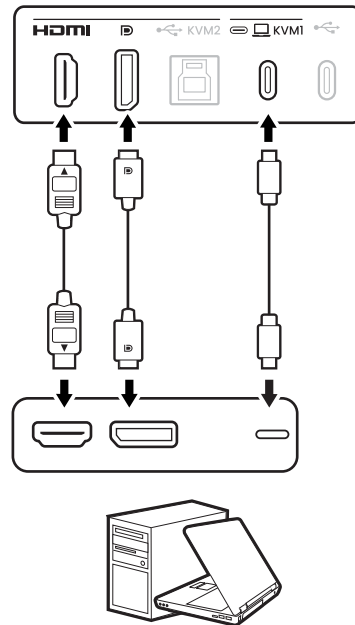
### 1. ビデオケーブルを接続します。

- HDMI ケーブルのプラグを、モニターの HDMI ポートに接続します。
- DP ケーブルのプラグをモニターのビデオソケットに接続します。
- 付属の USB-C™ ケーブルをモニターの USB-C™ ポートに接続します。

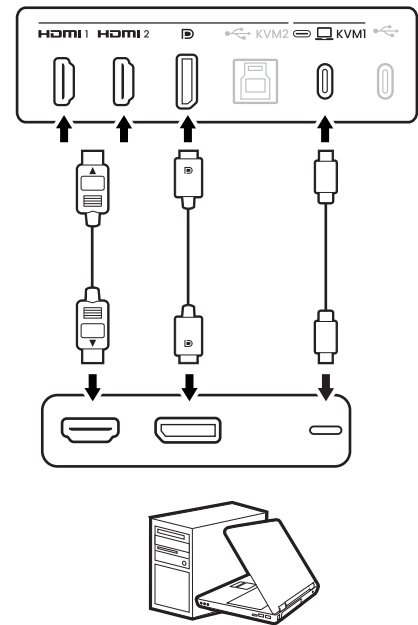
RD240Q



RD280U(A)



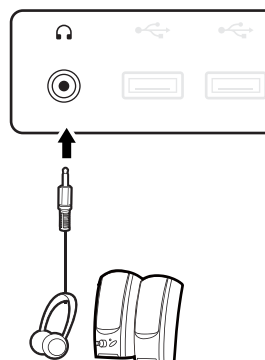
RD320U(A)



2. もう片方のビデオケーブルをデジタル出力装置（コンピュータなど）のポートに接続します。

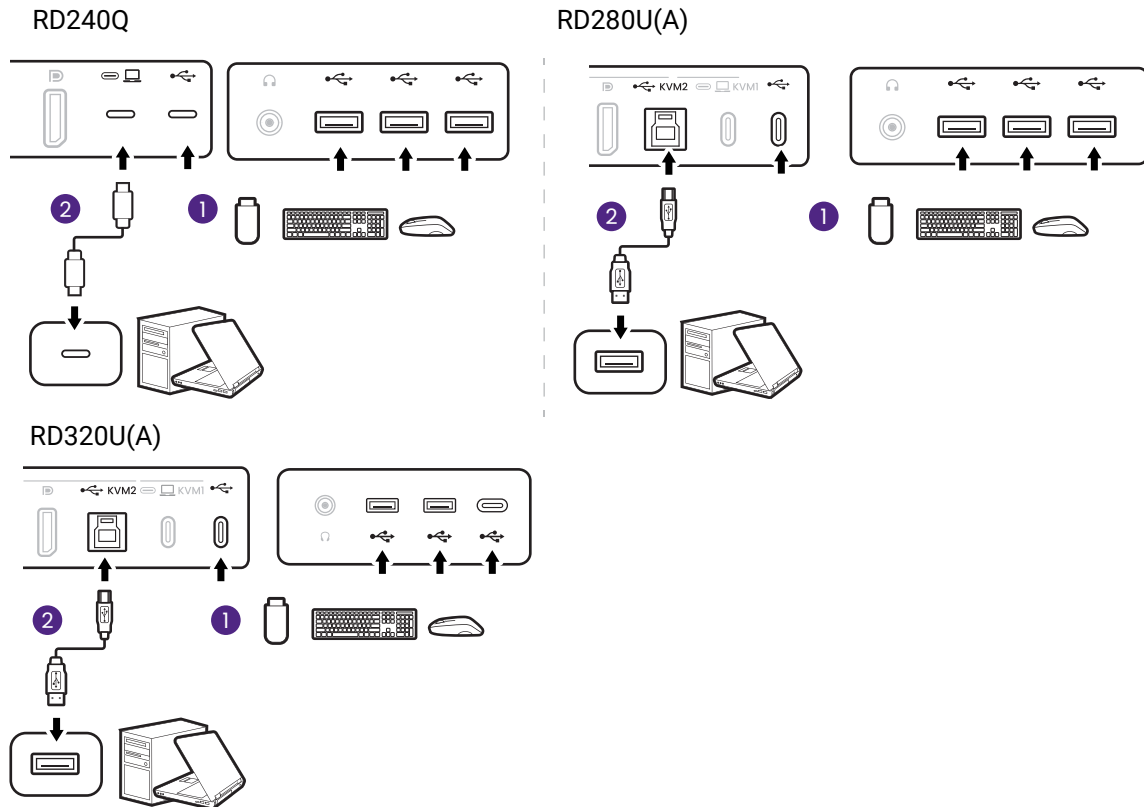
### 3. ヘッドフォンを接続します。

フロントベゼルの右下部のヘッドホンジャックに、ヘッドフォンを接続することができます。




#### 4. USB デバイスを接続します。

1. モニターの別の USB ポート（ダウンストリーム）を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。
2. USB ケーブルで PC とモニターを接続します（アップストリーム USB ポートを使用）。このアップストリーム USB ポートは、PC とモニターに接続されている USB デバイスの間でデータを通信します。Thunderbolt™ 3 または USB-C™ 入力から映像信号を取る場合は、このステップは必要ありません。



#### 5. 電源ケーブルを接続します。

1. モニターの背面の  と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。
2. 電源コードをコンセントに差し込みます。

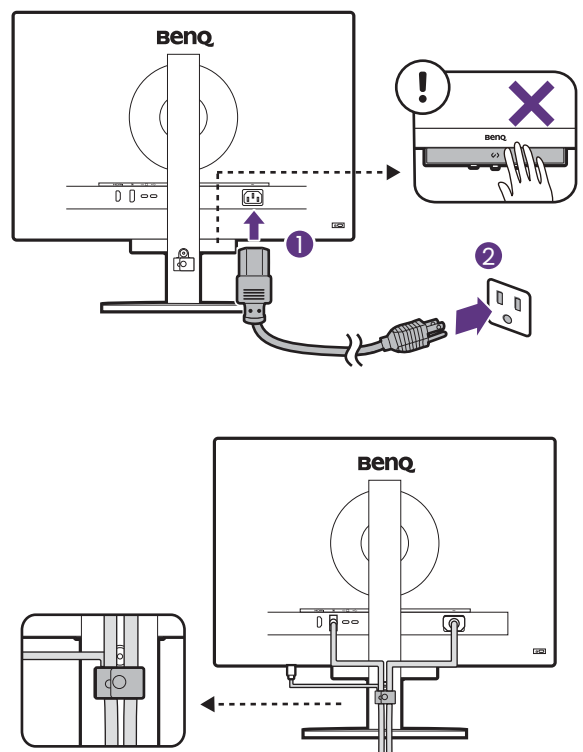
**!** 電源コードを挿入した後は、コーディングホットキーとファンクションバーには手を触れないでください。電源を入れてもコーディングホットキーが機能しない場合は、一度外してから再度やり直してください。

**!** 地域によって製品図が異なる場合があります。

#### 6. ケーブルを整理します。

ケーブルをストラップに通します。

**!** ケーブルストラップには電源コードを含め、最大で 6 本のケーブルを通すことができます。ケーブルストラップが破損する可能性がありますので、強く引っ張ることはお止めください。



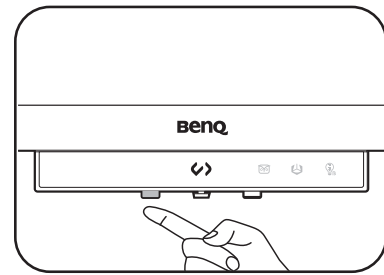
## 7. 電源を入れます。

モニターの電源ボタンを押して、モニターをオンにします。

コンピュータもオンにします。



本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。




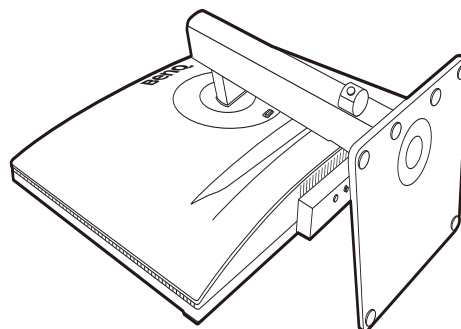
## スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル）

### 1. モニターと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニターの電源を切ります。モニター信号ケーブルを外す前にコンピュータの電源も切ります。

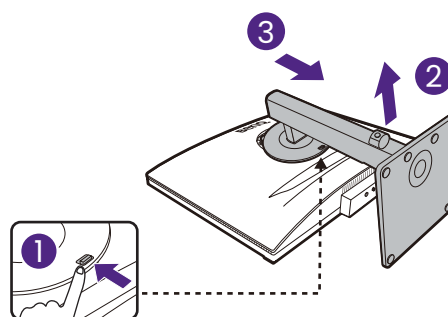
ベースを取り外す際モニターとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。

 物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。



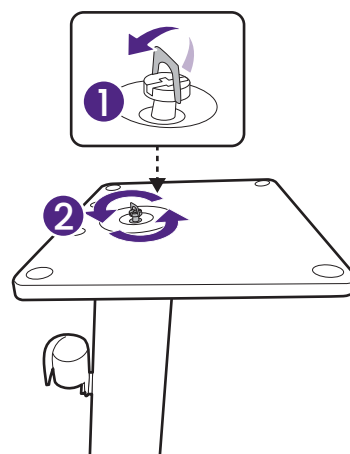
### 2. モニタースタンドを外します。

クイックリリース ボタン (①) を押すと、モニターが外れます。モニターからスタンドを外します (② および ③)。

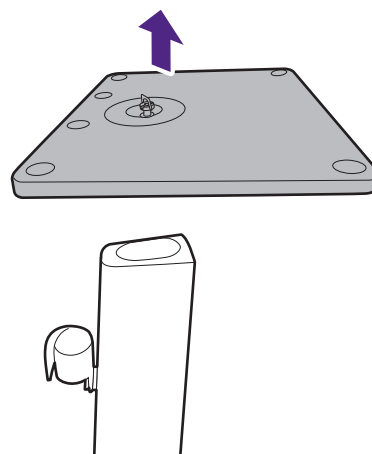


### 3. モニターのベースを外します。

モニターベースの底部にある蝶ネジを弛めます。



スタンドからベースを外します。



# モニターハードウェアの取り付け方法（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）



- エルゴアームスタンドは、同梱のモニターの重量を支えるために調整およびテストされ、スムーズで安定した動作を実現しています。エルゴアームスタンドを他のモニターに取り付けると、けがや故障の原因となることがあります。
- モニターベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行ってください。モニターが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。また、モニターベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- 次の画像は参照用です。出入力ジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。

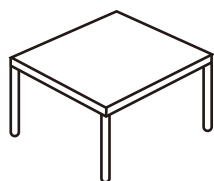


スクリーンの表面を指で強く押さないでください。

## 取り付けオプション

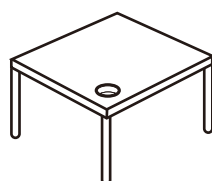
机のタイプによって、次の手順でモニターを組み立ててください。

### A. クランプマウント



- 組み立てる前に
- 薄い机にネジの位置を調整する（オプション）
- エルゴアームをクランプで取り付ける
- モニターヘッドをマウントします。を続行して、ハードウェアの組み立てを完成してください。

### B. グロメットの取り付け



- 組み立てる前に
- エルゴアームをグロメットで取り付ける
- モニターヘッドをマウントします。を続行して、ハードウェアの組み立てを完成してください。

## 組み立てる前に

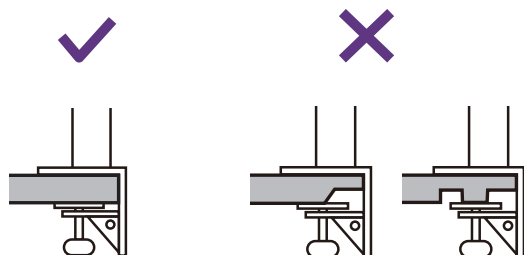
### 1. アームの取り付け位置を確認します。

机は平らな場所に置き、エルゴアームスタンドとモニターの重量を支えることができる安定したものでなければなりません。

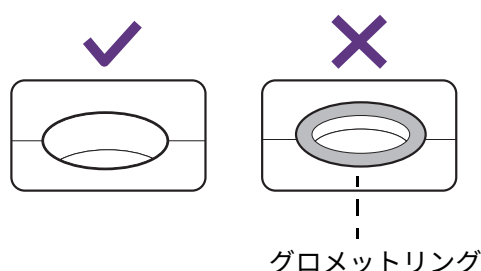
エルゴアームスタンドは、クランプとグロメットに対応し、ニーズに合わせて取り付けが可能です。高さや可動域を調整するための十分なスペースがあることを確認してください。

アームは、グロメットリングや突起物のない平らな机の上に固定してください。

#### A. クランプマウント

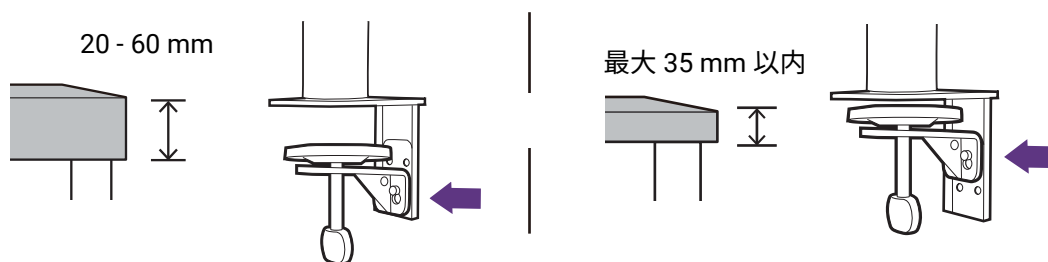


#### B. グロメットの取り付け



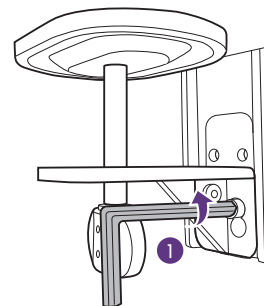
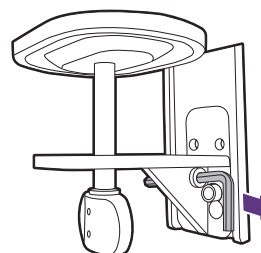
## 2. 机の厚みを確認します。

デスクの厚みによって、Cクランプを固定するネジの位置を変えることができます。詳細は、[薄い机にネジの位置を調整する（オプション）](#)を参照してください。

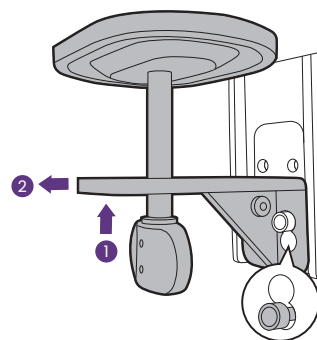


### 薄い机にネジの位置を調整する（オプション）

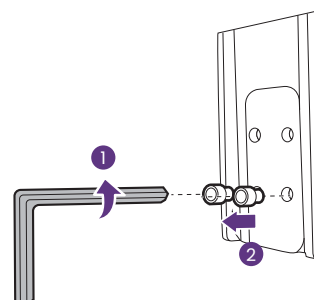
1. 付属の六角レンチを使用して、Cクランプを固定しているネジを半分緩めます。



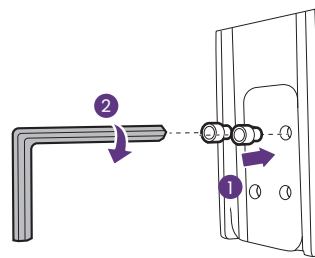
2. Cクランプを上を持ち上げて、取り外します。



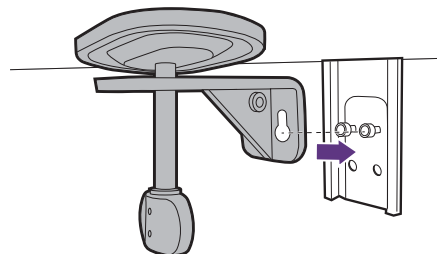
3. ネジを完全に取り外し、もう一組のネジ穴にネジを締め付けることができます。



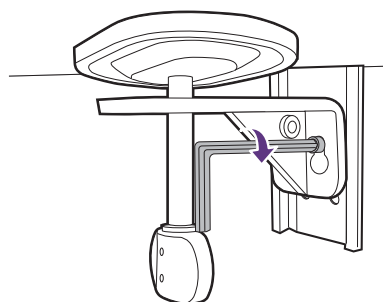
4. もう 1 組のネジ穴にネジを半固定します。



5. C クランプをネジに取り付けます。



6. ネジを締めます。

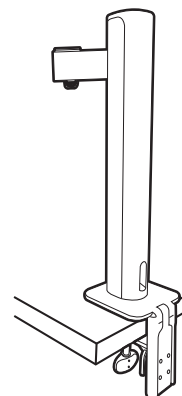


## セットアップ

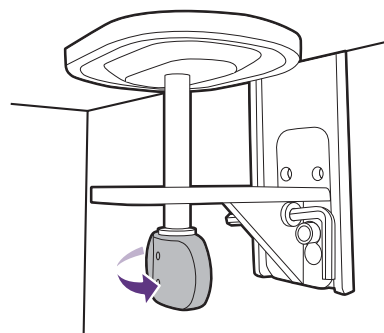
### 1. エルゴアームを取り付けます。

#### エルゴアームをクランプで取り付ける

- a. スタンドアームをデスクの端に取り付けます。

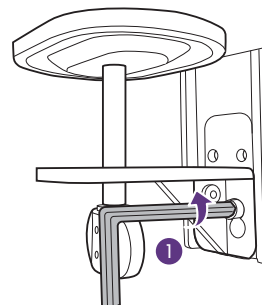


- b. ハンドルを反時計回りに回すと、デスクに固定されます。

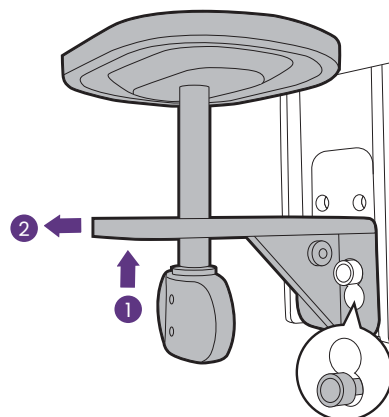


#### エルゴアームをグロメットで取り付ける

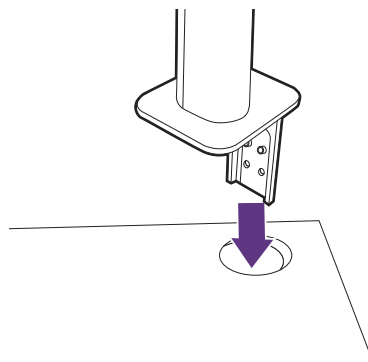
- a. 付属の六角レンチを使用して、Cクランプを固定しているネジを半分緩めます。



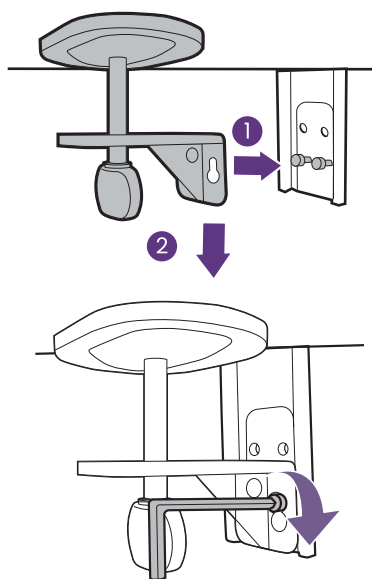
- b. Cクランプを上を持ち上げて、取り外します。



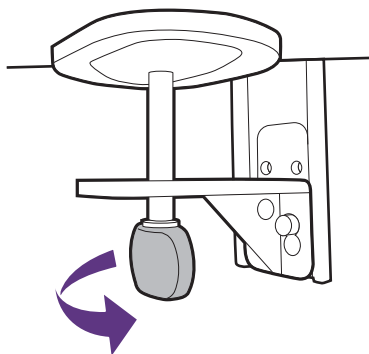
- c. 薄い机にネジの位置を調整する（オプション）のステップ3からステップ4で説明するように、机の厚さによってネジの位置を調整する必要があるかもしれません。
- d. スタンドを任意の場所に設置します。スタンドは平らな面に固定するため、グロメットリングがないことを確認してください。



- e. C クランプをスタンドに取り付け、ネジを締めてください。

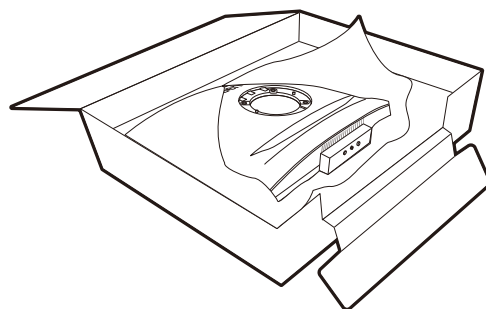


- f. ハンドルを反時計回りに回すと、デスクに固定されます。

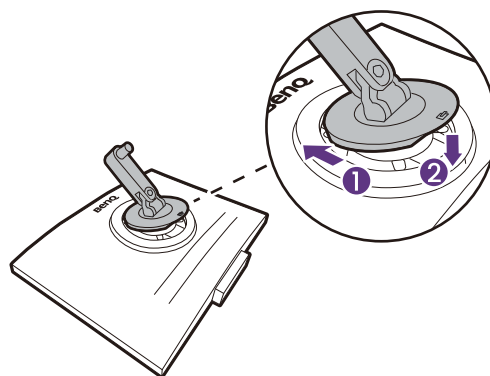


## 2. モニターヘッドをマウントします。

モニターに傷をつけないように、モニターヘッドは梱包材に包んだままの状態にしておきます。

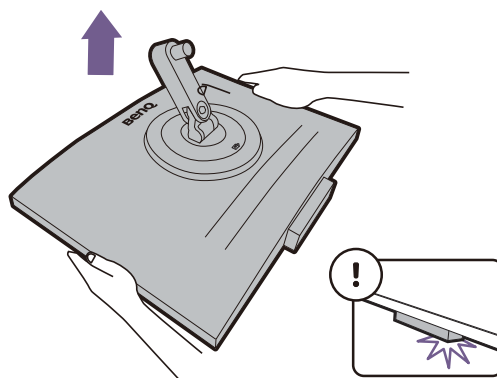


図のようにアッパーアームをモニターにロックされるまで取り付けます。

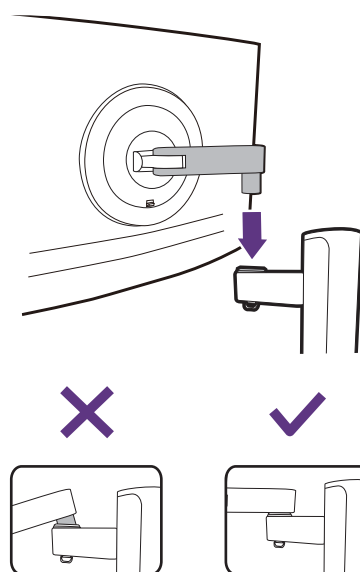


モニターをそっと持ち上げます。

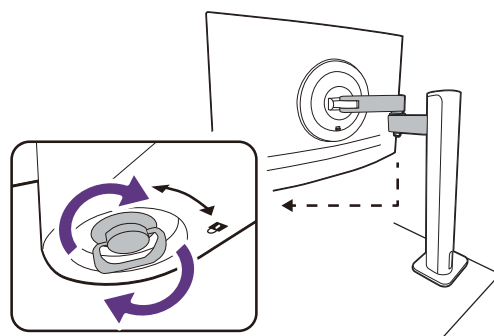
**!** スタンドアームとベースを取り付けない状態では、机の上や床の上にモニターを立てないでください。正面ベゼルの下部にあるコントロールは、モニターの重量を支えるように設計されておられませんので破損の原因となります。



アッパーアームをモニタースタンドに合わせ、金属部分が見えないように正しく設置します。



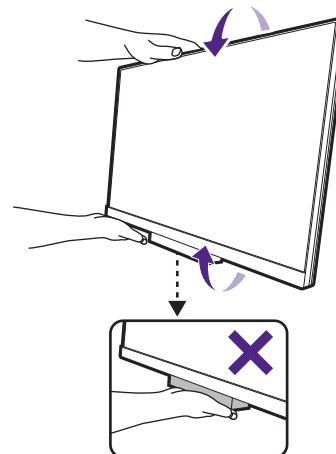
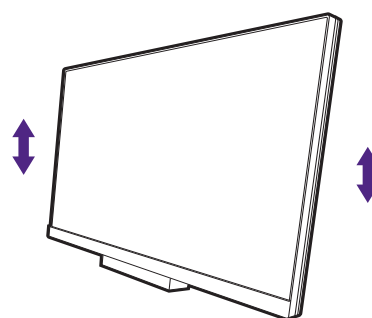
ネジのつまみを開けて、図に示すとおりネジを締めます。ネジのつまみを倒します。前の手順でアッパーアームが正しく取り付けられていれば、イモネジを締め付けることができます。



モニタースタンドの高さを調整したい場合があるかもしれません。詳細は、[39 ページの「モニターの角度調節」](#)を参照してください。

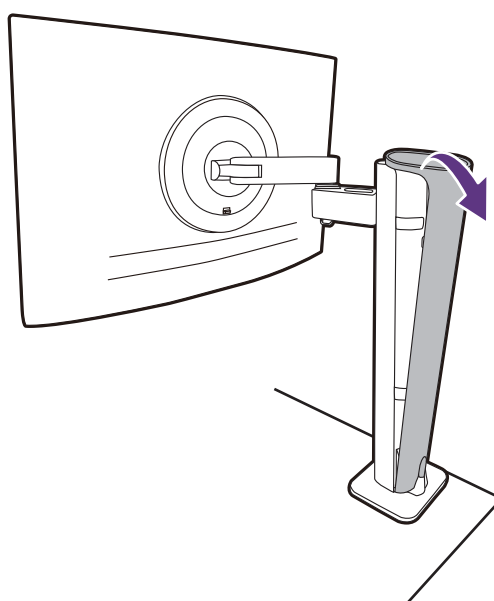
**!** ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面トタッチバーは指で強く押さないでください。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニターの上部和下部に手を置いてください。

**💡** 照明の反射を最小限に留めるために、モニターの位置とスクリーンの角度を調整してください。



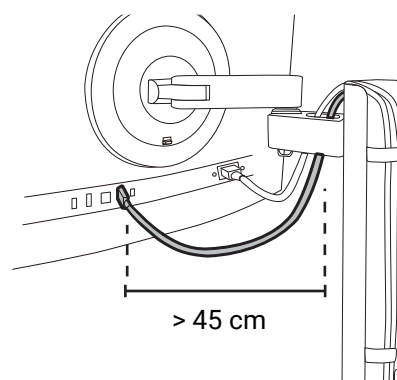
### 3. ケーブル類を接続し、整理します。

ケーブルマネジメントカバーを取り外します。

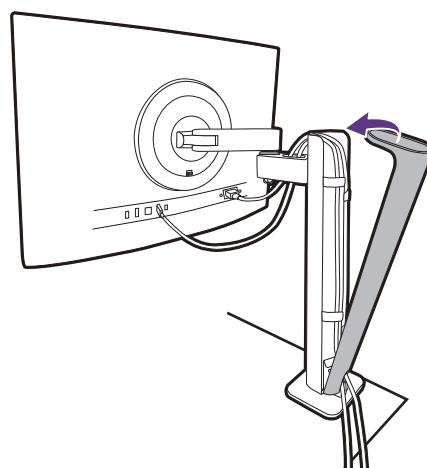


ケーブル類を正しく接続し、整理します。  
接続については ページ 26 から ページ 27 を  
参照してください。

モニターを傾けたり、アームを動かしたり  
したときに、コネクタが不用意に引き出さ  
れないように、ケーブル（モニター付近）  
にたるみを持たせることを忘れないでくだ  
さい。




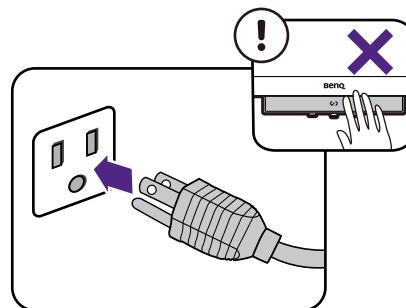
ケーブルマネジメントカバーを元に戻しま  
す。



#### 4. 電源に接続し、電源をオンにしま す。


電源コードをコンセントに差し込んで、電  
源を入れます。

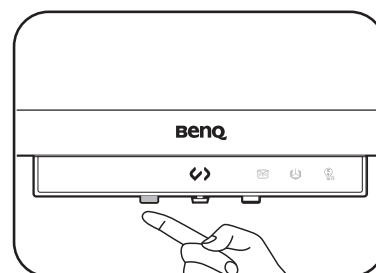
 地域によって製品図が異なる場合があります。



モニターの電源ボタンを押して、モニター  
をオンにします。

コンピュータもオンにします。

 本製品を長くお使いいただくため、電源の操作  
はコンピュータを使用して行ってください。



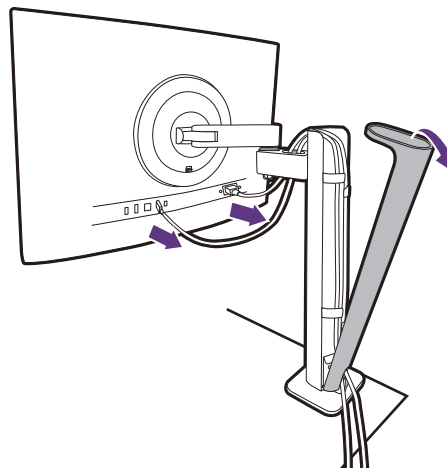
## スタンドの取り外し（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）

### 1. モニターと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニターの電源を切ります。モニター信号ケーブルを外す前にコンピュータの電源も切ります。

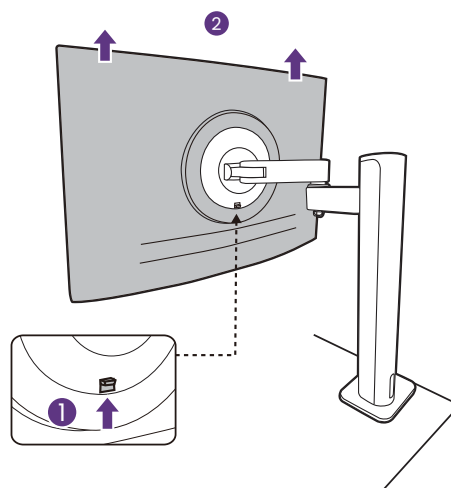
### 2. すべてのケーブルを抜きます。

ケーブルマネジメントカバーを外します。すべてのケーブルを抜き、スタンドから取り外します。ケーブルマネジメントカバーを元に戻します。



### 3. モニターを取り外します。

クイックリリースボタンを押すとモニターが外れ、持ち上げるとモニターが外れます。

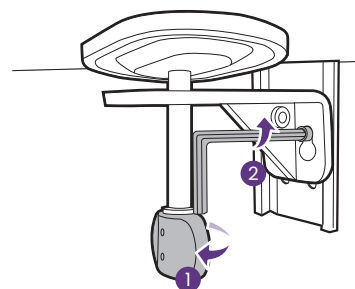
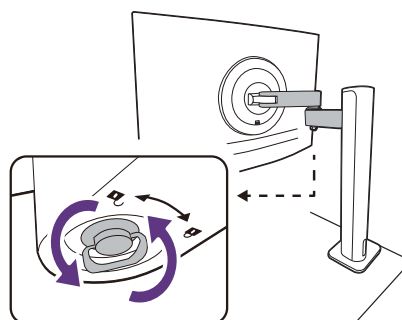


### 4. エルゴアームスタンドを取り外します。

ネジを緩めて、図のようにアッパーアームとエルゴアームスタンドを取り外します。



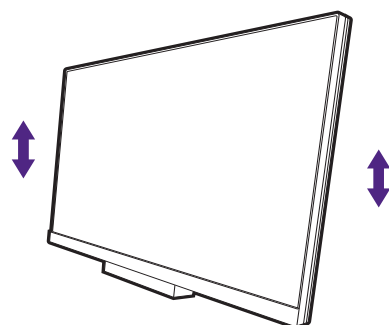
壁に取り付けるために、モニタースタンドが外してある場合は、42ページの「モニター取り付けキットの使用法（別売り）」および壁取り付け用ブラケット（別売り）の取り扱い説明書をお読みください。



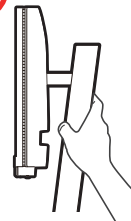
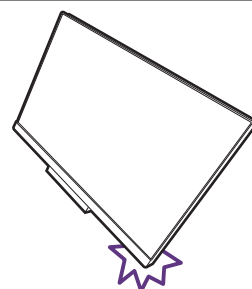
# モニターの角度調節

## モニターの高さ調節

モニターの高さを調整するには、モニターの左右両側を持ち、モニターを下げたり、好きな高さに引き上げたりします。



- 高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニターの底面に手を添えると、モニターを上げ下げするときにケガをする恐れがありますので、これらの位置に手を添えないでください。この作業を行う場合は、お子様をモニターに近付けないでください。



- モニターがポートレートモードのときに高さ調整を行いたい場合は、ワイドスクリーンによりモニターを最低の高さまで下げることはできませんのでご注意ください。ベースカバーの上に何かを置いている場合は、モニターピボットの前に取り除いてください。

## モニターを回転させる（特定モデルのみ）

### 1. ディスプレイを回転させます。

モニターを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があります。

デスクトップを右クリックし、ポップアップメニューから**画面の解像度**を選択します。**方向でポートレート**を選択し、設定を適用します。



PC のオペレーティングシステムによって、スクリーンの方向を調整する手順が異なります。詳しくは、オペレーティングシステムのヘルプドキュメントを参照してください。

### 2. ケーブルを調整します。

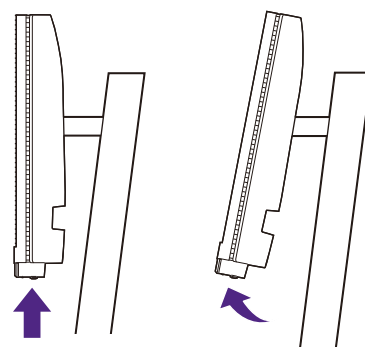
- HAS スタンドは、ケーブルが絡まないようにケーブルストラップを緩めてください。
- エルゴアームについては、モニターを傾けたり、アームを動かしたりしたときに、コネクタが不用意に引き出されないように、ケーブル（モニター付近）にたるみを持たせることを忘れないでください。

### 3. モニターを最高の高さまで上げ、傾斜させます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次にモニターを傾けます。



モニターを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニターが縦方向に伸びるはずですが。



### 4. モニターの回転

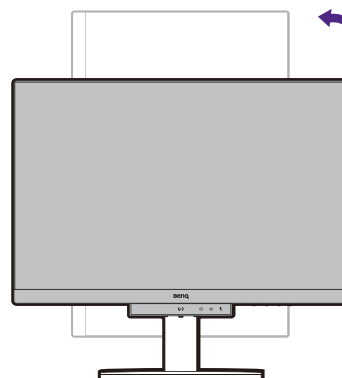
回転角度：

- RD240Q：右 / 左回りに 90 度
- RD280UA/RD320U(A)：右回りに 90 度
- RD280U：該当なし

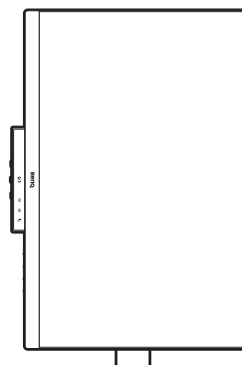


- 画面を回転する必要がある場合は、RD240Q/RD280UA/RD320U/RD320UA モデルをご確認ください。
- 非 RD モニターアームと RD280U(A)/RD320U(A) を使用している場合は、最適な性能を引き出すために右回り回転だけをお勧めします。
- 回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニターベースに当たらないように、まずモニターを最高の高さまで引き上げてください。モニターの周囲はケーブルを接続するのに十分なスペースを保ち、周囲には物を置かないでください。モニターベースに設置したものの、接続した USB 周辺機器、ケーブル類を取り除きます。

90°



### 5. モニターを適切な角度に調整します。

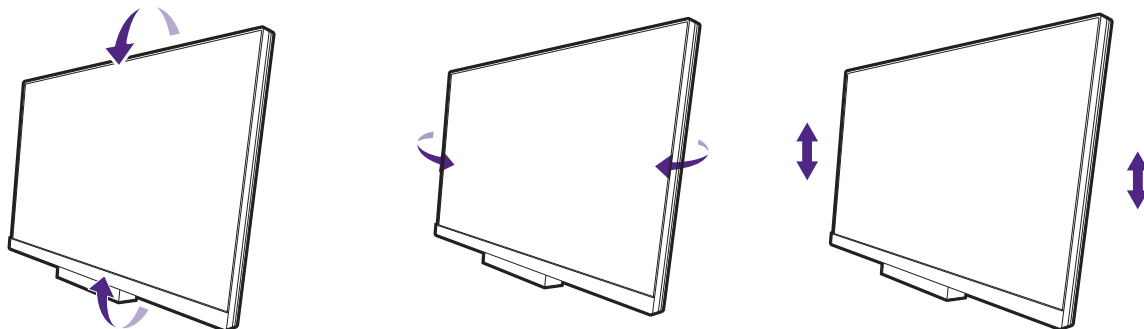


### 6. ケーブルを整理します。

- HAS スタンドについては、[ケーブルを整理します。](#)を参照してください
- エルゴアームについては、[ケーブル類を接続し、整理します。](#)を参照してください

## 表示角度の調整

上下、左右、高さを調整して、モニターを見やすい角度に合わせてください。製品の仕様については、ホームページをご覧ください。



## モニター取り付けキットの使用法（別売り）

LCD モニターの背面には 100 mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニターを壁に設置することができます。モニター取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

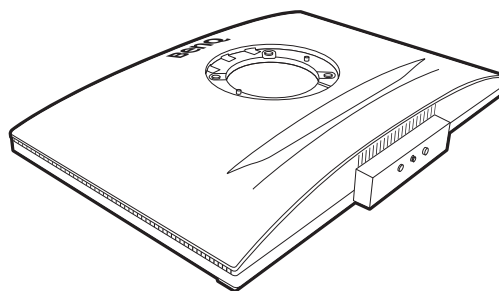
### 注意事項

- モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の素材と標準の壁面取り付け用ブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。重量については、ホームページで仕様書をご覧ください。
- ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。

#### 1. モニタースタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平らな場所に寝かせてください。説明したように、モニタースタンドを切り離します。

- 29 ページの「スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル）」
- 38 ページの「スタンドの取り外し（エルゴアームスタンド付きモデルの場合）」

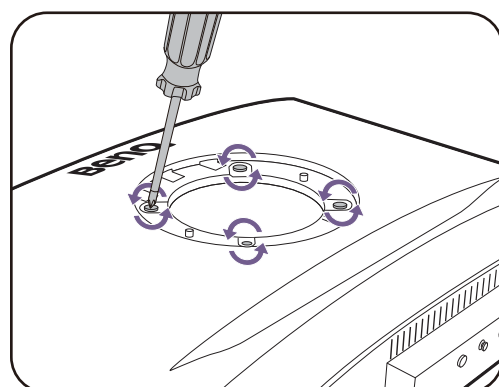


#### 2. 後ろカバーのネジを外します。

プラスドライバを使って、後ろカバーのネジを緩めてください。ヘッドが磁石になっているドライバを使用すると、ネジを紛失するのを防止することができます。



将来モニタースタンドを使用する可能性がある場合は、モニターベース、スタンド、ネジは安全な場所に保管しておいてください。



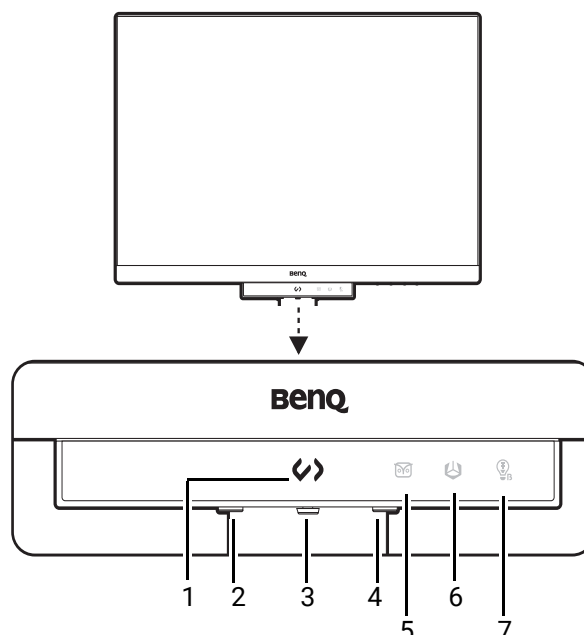
#### 3. 購入された壁面取り付け用ブラケットの説明書を読み、モニターを正しく設置してください。



4 個の M4 x 10 mm ネジを使って、モニターを VESA 標準壁取り付けブラケットに取り付けます。すべてのネジがきつく、しっかりと締められているか確認してください。壁取り付けおよび安全のための注意については、専門の技術者、または BenQ サポートセンターにお問い合わせください。

# モニターの調整

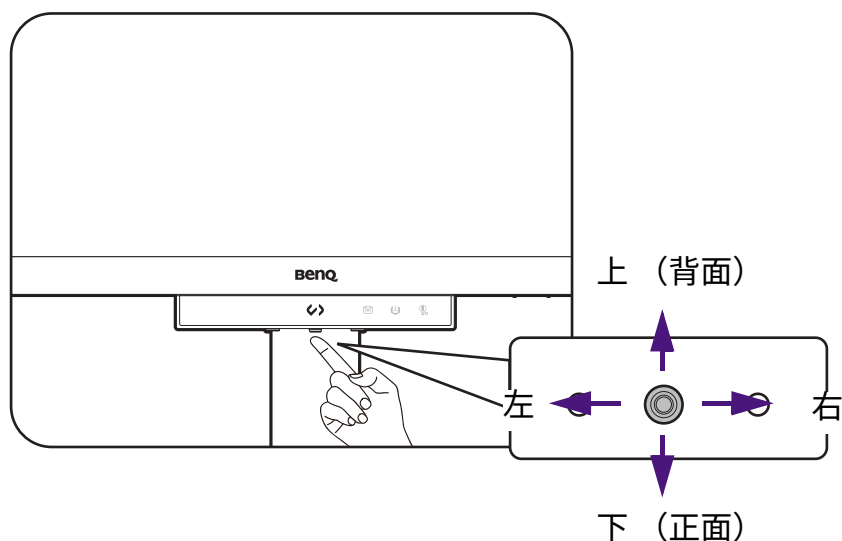
## ファンクションバー



番号	名前	説明
1.	コーディングホットキー	コーディングを行うために別のカラーモードにトグルします。詳細は、 <a href="#">46 ページの「クイックメニューで作業をする」</a> を参照してください。
2.	電源キー	電源をオン/オフします。
3.	5 ウェイ コントローラ	画面にアイコンで表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。詳細は、 <a href="#">44 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」</a> を参照してください。
4.	ファンクションキー	<ul style="list-style-type: none"><li>デフォルトでは、このキーは<b>入力</b>のホットキーです。</li><li><b>カスタム &gt; ファンクションキー</b>を選択して、ファンクションキー設定メニューにアクセスします。詳細は、<a href="#">45 ページの「ファンクションキーのカスタマイズ」</a>を参照してください。</li></ul>
5.	夜間プロテクション LED インジケータ	<ul style="list-style-type: none"><li>機能が有効のときには点灯します。</li><li><b>コーディングブースター &gt; ファンクションバー &gt; LED インジケータ</b>を選択して LED の動作を調整します。詳細は、<a href="#">62 ページの「LED インジケータ」</a>を参照してください。</li></ul>
6.	B.I. Gen2 LED インジケータ	
7.	ブルーライト軽減プラス LED インジケータ	

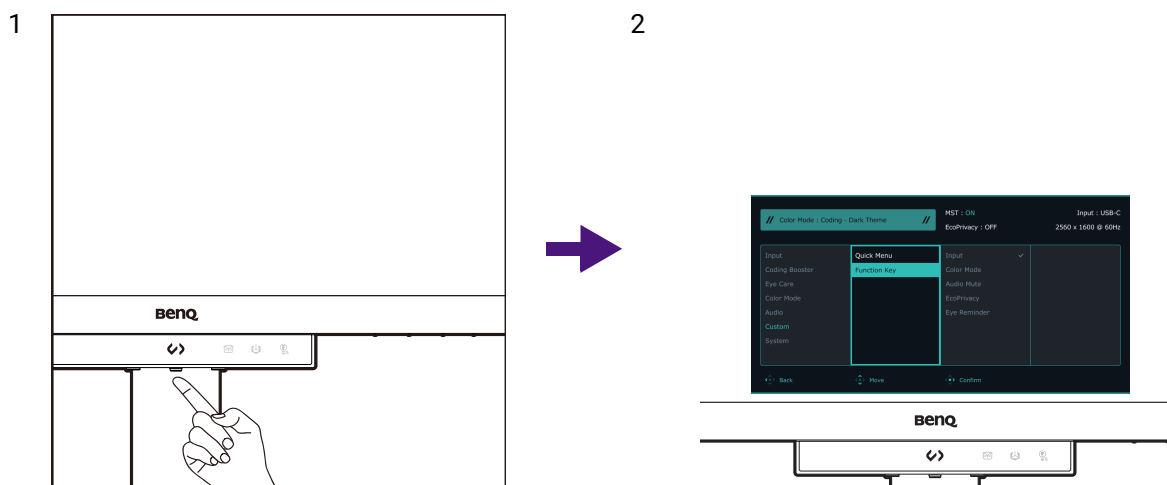
## 5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作

5 ウェイ コントローラはフロントベゼルの下部分にあります。モニターの前に座り、画面のアイコンが示す方向にコントローラを動かしてメニューをナビゲートしたり操作したりします。



OSD アイコン	5 ウェイ コントローラの操作	機能
(メニューが有効でないとき)		
非表示	5 ウェイ コントローラ を押す	メインメニューが有効になります。
	左 / 右を押す (特定モデルのみ)	<b>MoonHalo</b> を上に <b>クイックメニュー</b> 。詳細は、 <a href="#">47 ページの「クイックメニューで MoonHalo を使用する (特定モデルのみ)」</a> を参照してください。
(メニューが有効になっているとき)		
	押す	選択肢を確定します。
	右に移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブメニューが開きます。</li> <li>選択肢を確定します。</li> </ul>
	上に移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>前のメニュー アイテムに戻ります。</li> <li>上 / 設定を上げます。</li> </ul>
	下に移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のメニュー アイテムに戻ります。</li> <li>下 / 設定を下げます。</li> </ul>
	左に移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>前のメニューに戻ります。</li> <li>OSD を終了します。</li> </ul>

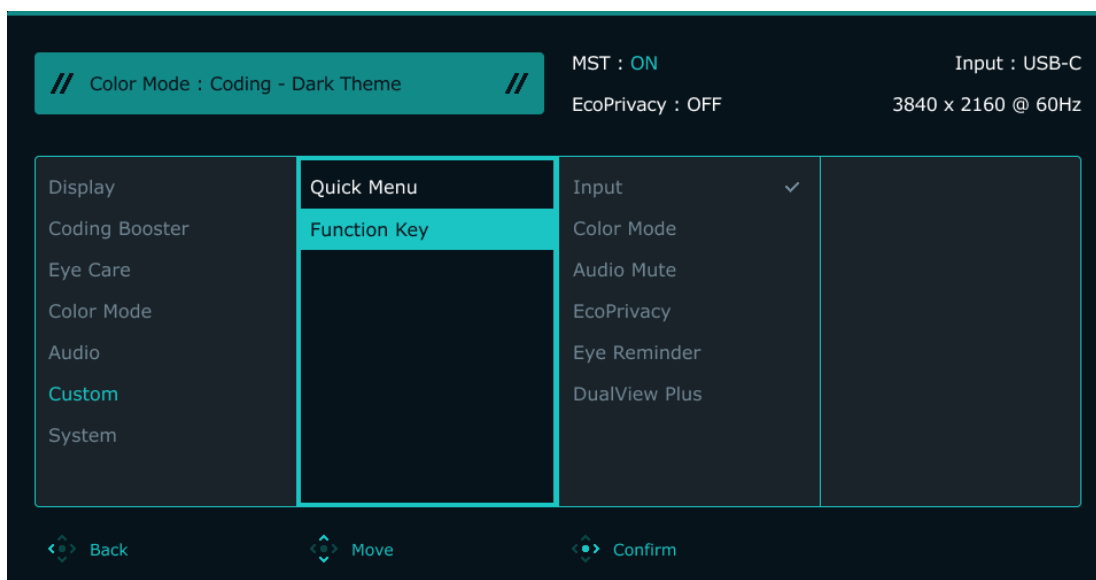
すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニターの設定はすべて OSD で行うことができます。選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。



1. ◀▶を押すとメインメニューが開きます。
2. メインメニューでメニューの下のほうにあるオンスクリーンアイコンに従って、調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、57ページの「メインメニューのナビゲート」を参照してください。

## ファンクションキーのカスタマイズ

1. **メニュー > カスタム > ファンクションキー**を選択して、ファンクションキー設定メニューにアクセスします。
2. サブメニューでこのキーに割り当てたい機能を選択します。設定が完了すると、メッセージが表示されます。

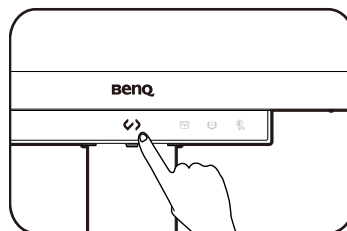


## クイックメニューで作業をする

クイックメニューは別のカラーモードに簡単にアクセスしてコーディングを行い、頻繁に調整するモニター設定を変更することができます。

### 1. クイックメニューが開きます。

☞ をタップします（コーディングホットキー）。

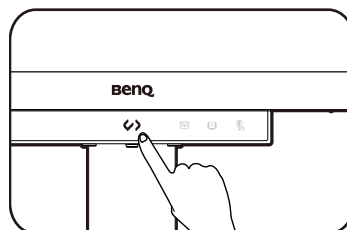


### 2. 異なるコーディングモードを順番に切り替えます。

次のオプションのいずれかをお使いください。

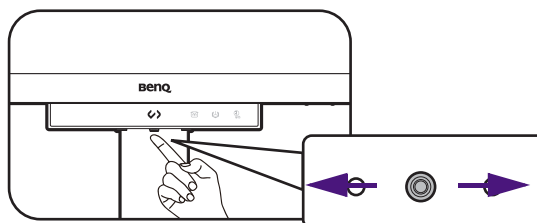
a. 再度 ☞ をタップします（コーディングホットキー）。

a.



b. ◀▶ / ▶◀ を押します。

b.



コーディングモードのオプション：

- コーディング - 暗いテーマ
- コーディング - 明るいテーマ
- 最後に選択したカラーモード

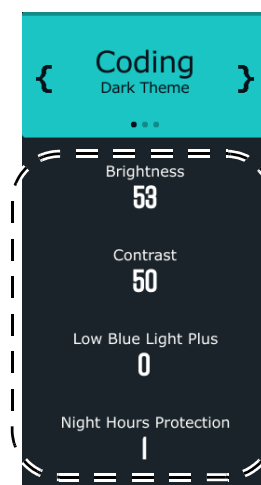
### 3. カラーモード設定の調整をします。

◀▶ / ▶◀ を押して別の設定オプションにアクセスします。

◀▶ / ▶◀ を押して調整します。



夜間プロテクション設定がグレイ表示されている場合は、81ページの「夜間プロテクションがクイックメニューでグレイ表示される」を参照してください。



## クイックメニューオプションのカスタマイズ

1. ▶◀ を押すとメインメニューが開きます。

2. カスタム > クイックメニューを選択します。

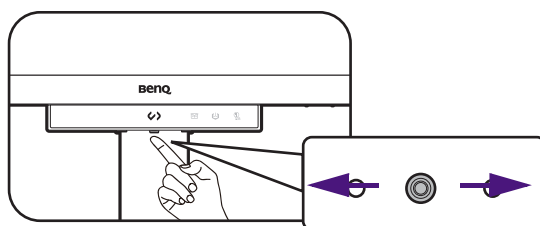
3. サブメニューでクイックメニューからアクセスできる2から4個のオプションを選択します。選択できるオプションについては、71ページの「クイックメニュー」を参照してください。

## クイックメニューで MoonHalo を使用する（特定モデルのみ）

MoonHalo のクイックメニューは、MoonHalo 設定を調整するためのクイックアクセスです。


### 1. MoonHalo のクイックメニューを表示する。

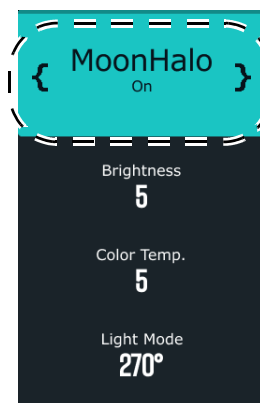
◀▶ / ▶▶ を押して MoonHalo のクイックメニューを表示します。



### 2. 異なるモードを順番に切り替えます。

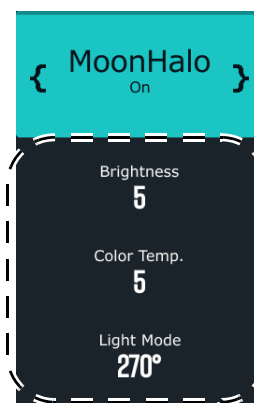
機能を調整するには、◀▶ / ▶▶ を押しします。

 自動調光を有効にするには、Eye Care で B.I. Gen2 機能をオンにしてください。




### 3. クイック設定を調整します。

- ◀▶ / ▶▶ を押して別の設定オプションにアクセスします。
- ◀▶ / ▶▶ を押して調整します。




## MoonHalo を使用する（特定モデルのみ）

 目を保護するために、ライトを直接見つめないでください。

MoonHalo は、表示環境の照明を調和させるための内蔵バックライトです。作業効率を高め、眼精疲労を軽減させるために、この機能を有効にしてください。




- ◀▶ を押すとメインメニューが開きます。
- コーディング ブースター > MoonHalo を選択します。
- 切り替えで自動調光またはオンを選択します。自動調光は、MoonHalo の輝度を検出した環境照明をもとに自動的に調整し、スクリーンの輝度と同期することで、低照明環境において目を保護します。

 自動調光は、B.I. Gen2 が有効になっていなければグレイ表示されます。メニュー > Eye Care > B.I. Gen2 を選択し、この機能をオンに設定します。

4. **輝度、色温度、ライトモード**を設定します。これらの設定は、カラーモード切替で保存、適用されます。

## MoonHalo を夜間照明として使う（ノンストップモード）

モニターがスリープモードのとき **MoonHalo** をオンにするには、**ノンストップモード**をオンにしてください。


1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **コーディング ブースター > MoonHalo > ノンストップモード**を選択し、**オン**を選択します。**オン**に設定すると、入力源がスリープ状態になると **MoonHalo** が点灯します。
3. モニターがスリープモードのとき、ショートカットとして  /  を押すと **MoonHalo** が有効 / 無効になります。



**MoonHalo** 設定の値は、モニターが無作動になる直前に使用されていた設定になります。設定を細かく設定するには、モニターの OSD メニューで行います。調整内容は、カラーモード切替で保存、適用されます。


## 夜間プロテクションで作業をする

**夜間プロテクション**は最低輝度技術により、目を保護してくれます。インテリジェントな環境光検出技術と自動切替機能により、簡単に安定したアイケアを実現できます。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > 夜間プロテクション**を選択します。
3. **切り替えでオン**または**自動切替**を選択します。**自動切替**のために、モニターは環境光の状態に応じてこの機能を有効または無効にします。
4. **レベル**でフィルタの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。
5. ファンクションバーの LED インジケータは、この機能がオンになると点灯します。LED の動作は**コーディング ブースター > ファンクションバー > LED インジケータ**で調整できます。

## スクリーンプライバシーの保護（EcoPrivacy）

**EcoPrivacy** 機能は無作動状態になるとモニターを暗くして省エネを実行し、スクリーンプライバシーを保護します。内蔵された接近センサーはあらかじめ設定された範囲内でああなたの存在を検出します。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **コーディング ブースター > アクティベーション時間**を選択して、EcoPrivacy が作動するまでのモニターの無作動期間を設定します。
3. **コーディング ブースター > 感度センサー**を選択して、スクリーンの間のセンサー距離を調整します。



想定したとおりに機能が作動しない場合は、内蔵された近接センサー固有の特性によるものと思われます。性能は素材、色、サイズ、近くにある物体（人の服など）の表面反射、位置、環境照明、感知角度など、さまざまな要素により変わります。つまり検出範囲および機能の作動性は、条件によって変わる可能性があることを意味しています。


## ブルーライト軽減プラスで作業をする



この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。

ブルーライト軽減プラスにより、ディスプレイから発せられるブルーライトを減少させ、目への負担を軽減することができます。

カラーモードに関係なく、お好みでブルーライトを低減することができます。


1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > ブルーライト軽減プラス > オン**に移動して、この機能を有効にします。
3. ファンクションバーのLED インジケータが点灯します。LED の動作は**コーディング ブースター > ファンクションバー > LED インジケータ**で調整できます。

## 画面の輝度の自動調整 (Brightness Intelligence Gen2)



この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。

内蔵の光線センサーは、Brightness Intelligence Gen2 技術と合わせて環境照明、画像の輝度、コントラストを検出し、スクリーンを自動的に調整します。画像の詳細を維持しながら、目の疲れを軽減させる効果があります。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > B.I. Gen2 > オン**に移動して、この機能を有効にします。
3. ファンクションバーのLED インジケータが点灯します。LED の動作は**コーディング ブースター > ファンクションバー > LED インジケータ**で調整できます。




・Brightness Intelligence Gen2 の性能は、光源とモニターの傾斜角度によって変わります。お好みでもう一度手動で輝度を調整したい場合は、**メニュー > Eye Care > B.I. Gen2**に進みます。詳細は、66 ページの「**B.I. Gen2**」を参照してください。

## カラーユニバーサルモードを有効にする (カラーユニバーサルモード)



この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。


カラーユニバーサルモードモードは、色覚に障がいのある方が容易に色を識別できるようにするものです。本機には**赤フィルタ**および**緑フィルタ**があります。必要なフィルタを選択してください。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > カラーユニバーサルモード**を選択します。
3. **赤フィルタ**または**緑フィルタ**を選択します。

フィルタの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。


## アイリマインダーを使って目を休める

内蔵された接近センサーに、あらかじめ設定された範囲内でのあなたの存在を検出させます。センサーが設定した時間を超えてあなたを検出すると、目を休めるようメッセージが表示されます。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > アイリマインダー**を選択します。
3. リマインダーのタイミングを選択します。

## 画面モードの調整

ネイティブではない縦横比やディスプレイサイズで画像を表示するには、モニターでディスプレイモードを調整します。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **システム > 画面モード**または**表示 > 画面モード**を選択します。
3. 適切な画面モードを選択してください。変更した設定は直ちに反映されます。

## 適切なカラーモードの選択

このモニターには、さまざまな画像タイプに合ったカラーモードがいくつか用意されています。カラーモードの種類については、67ページの「カラーモードメニュー」を参照してください。

カラーモードを開きカラーモードを選択します。

## 各カラーモードで選択可能なメニューオプション

設定したカラーモードに応じて、それぞれの色調整のために選択できるオプションは変わります。選択可能なオプションも入力毎に変わるため、このリストは参照用としてお使いください。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。

カラーモード オプション	コーディング - 暗い テーマ	コーディング - 明るい テーマ	M-book	シネマ	ゲーム <sup>(2)</sup>	HDR	ePaper	sRGB	ユーザー
輝度	V	V	V	V	V	V <sup>(3)</sup>	V	V	V
コントラスト	V	V	V	V	V	V <sup>(3)</sup>	V	V	V
シャープネス	V	V	V	V	V	V	V	V	V
彩度	V	V	X	X	X	X	X	X	V
ガンマ	X	X	X	X	X	X	X	X	V
色温度	V	V	V	X	X	X	X	X	V
B.I. Gen2	V	V	V	V	V	X	V	X	V
カラーユニバーサル モード	V	V	X	V	V	X	X	X	V
ブルーライト軽減 プラス	V	V	V	V	V	X	V	X	V
夜間プロテクション	V	V	V	V	V	V	V	V	V
MoonHalo <sup>(1)</sup>	V	V	V	V	V	V	V	V	V



- V：利用可能。
- X：利用不可。
- <sup>(1)</sup> RD280U(A) & RD320U(A) のみ
- <sup>(2)</sup> RD320U(A) のみ
- <sup>(3)</sup> RD240Q でのみ有効

## 調整可能な OSD 設定

一部の設定（例：OSD 言語）は、他のモニター設定や入力に関係なく変更され、すぐに有効になります。ただし、多くの OSD 設定は、カラーモードに合わせて調整して保存することが可能です。カラーモードを選択すると、希望する設定が適用されます。

アイテム	説明
輝度	カラーモード切替で保存、適用。
コントラスト	
シャープネス	
彩度	
ガンマ	
色温度	
夜間プロテクション	
ブルーライト軽減プラス	
B.I. Gen2	
カラーユニバーサルモード	
MoonHalo*	

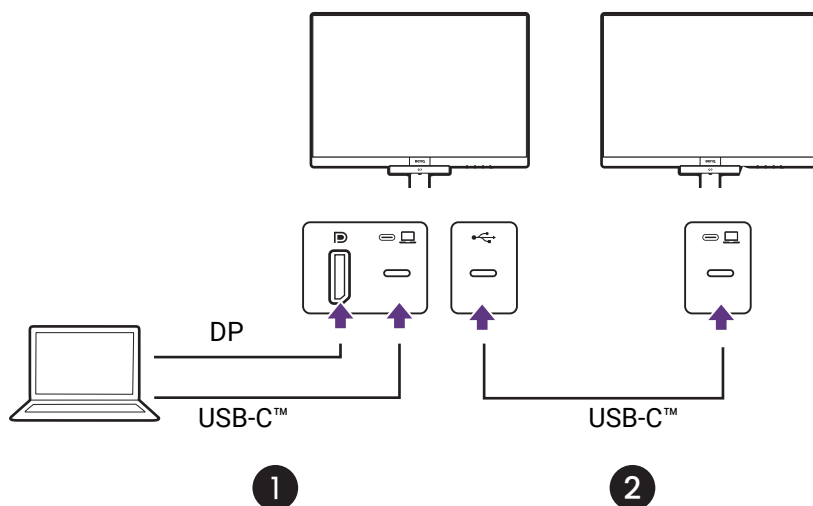


\* RD280U(A) & RD320U(A) のみ

## MST（マルチストリーム転送）を使って複数のモニターを接続する

- Macbook シリーズでは、この機能は使用できません。
- **MST** は、HDMI ケーブルによる接続には対応していません。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。詳細は、[80 ページの「MST 機能は使用できません。」](#)を参照してください。
- （特定モデルのみ）接続中にモニター画面が黒くなる場合は、**メニュー > システム > USB-C 構成** を選択した後、**USB 2.0** を選択します。

USB-C™ ポートまたは DP ポートを使って接続すると、MST 機能を使ってコンテンツを最大 4 台のモニターに出力することができます。



1. ラップトップを USB-C™ / DP ケーブルを使ってモニターの USB-C™ / DP ポートに接続します。質問されたら、**はい**を選択してモニターがスタンバイモードの時に USB-C™ 給電を行います。USB-C™ ポートからは、スタンバイモードのときにもラップトップに給電されます。
2. USB-C™ ケーブルで 2 台目のモニターと最初のモニターを接続します。
3. **メニュー > コーディング ブースター > MST > オン** を選択します。入力信号が検出されなければ、OSD メニューを起動したり、構成したりすることはできません。
4. 必要であれば、ステップ 2 に従って 3 台目のモニターと 4 台目のモニターを接続します。
5. ラップトップとモニターの電源を入れます。接続したすべてのモニターで、ステップ 2 で説明した構成を確認してください。
6. 接続したモニターにコンテンツをどのように表示したいかを、ラップトップで決定します：**複製、拡張または第二スクリーンのみ**。ディスプレイを管理するためには、追加のソフトウェア（別売り）が必要となる場合があります。詳細は、購入されたソフトウェアのマニュアルをお読みください。

## 対応解像度

MST を実行するには、画質を保証するために一定数の互換性のある接続されたモニターが必要です。各モニターの画像解像度については、次をご参照ください。

- MST については、コンピュータのグラフィックカードが DP 1.4 に対応していることを確認してください。続できるモニターの数は、グラフィックカードによって異なります。グラフィックカードの互換性については、その仕様をご覧になるか、製造元にお問い合わせください。

## RD240Q

設定	第 1 モニター (RD240Q)	第 2 モニター (RD240Q または 対応する BenQ モニター)	第 3 モニター (RD240Q または 対応する BenQ モニター)	第 4 モニター (RD240Q または 対応する BenQ モニター)
1	2560 x 1600 (60 Hz)	2560 x 1600 (60 Hz)	非表示	非表示
2	2560 x 1600 (60 Hz)	2560 x 1600 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	非表示
3	2560 x 1600 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)
4	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)

## RD280U(A)

設定	第 1 モニター (RD280U)	第 2 モニター (RD280U また は対応する BenQ モニター)	第 3 モニター (RD280U また は対応する BenQ モニター)	第 4 モニター (RD280U また は対応する BenQ モニター)
1	3840 x 2560 (60 Hz)	3840 x 2160 (30 Hz)	非表示	非表示
2	3840 x 2160 (30 Hz)	3840 x 2160 (30 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	非表示
3	3840 x 2160 (30 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)
4	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)

## RD320U(A)

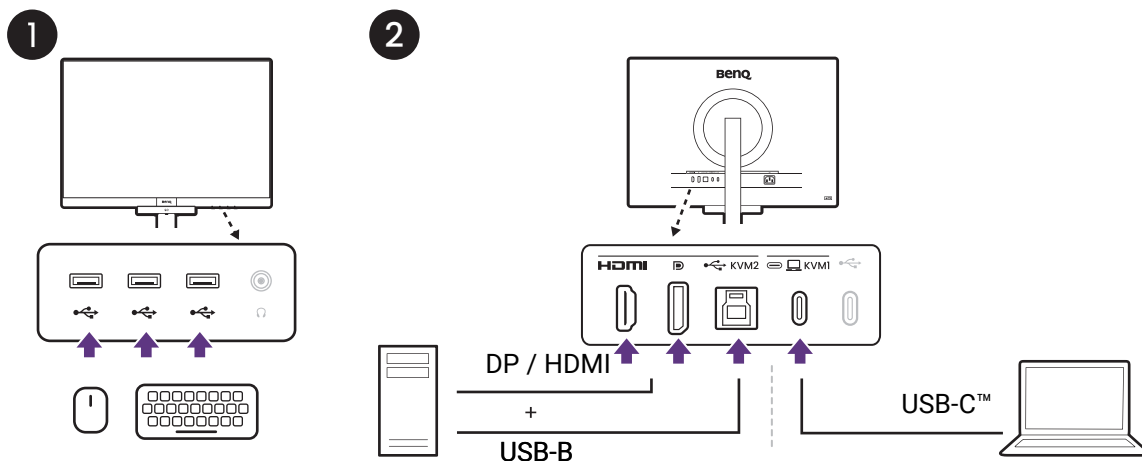
設定	第 1 モニター (RD320U)	第 2 モニター (RD320U また は対応する BenQ モニター)	第 3 モニター (RD320U また は対応する BenQ モニター)	第 4 モニター (RD320U また は対応する BenQ モニター)
1	3840 x 2160 (60 Hz)	3840 x 2160 (30Hz)	非表示	非表示
2	3840 x 2160 (30Hz)	3840 x 2160 (30Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	非表示
3	3840 x 2160 (30Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)
4	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)	1920 x 1080 (60 Hz)

## キーボード、マウス、その他の USB 周辺機器を KVM と共有させる（特定モデルのみ）

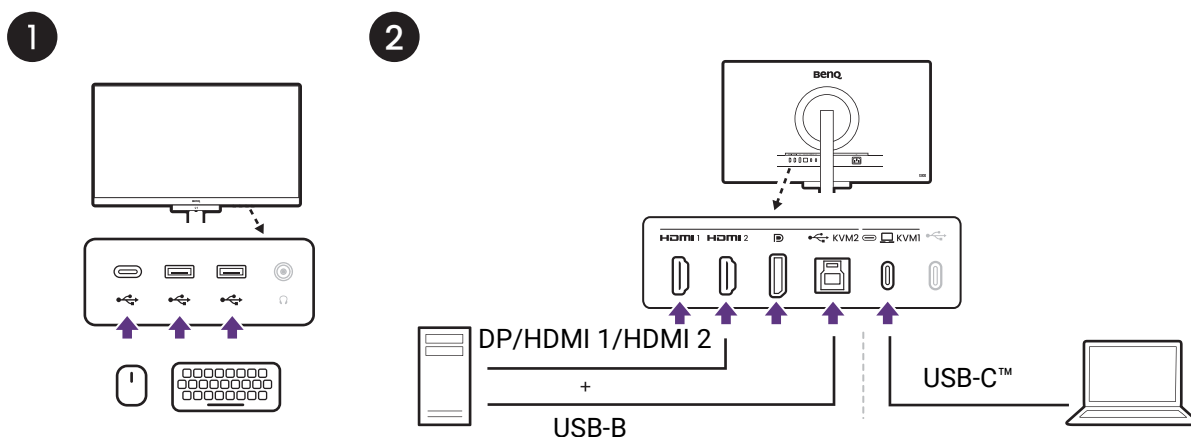
KVM を活用することで、操作機器（キーボードやマウスなど）とその他の USB 周辺機器を複数のビデオソースで共有して使用することができます。

### KVM 接続の確立

RD280U(A)



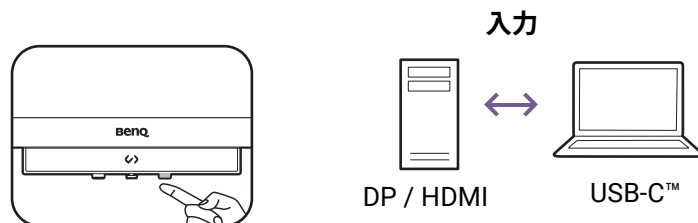
RD320U(A)



1. 操作機器およびその他の USB 周辺機器をモニターの USB ポートに接続します。
2. ビデオ入力源を 2 つ以上モニターに接続します。
  - USB-C™ 接続
  - DisplayPort/HDMI および USB-B 接続
3. 接続が正しく確立されている場合は、自動的に KVM 機能が有効になります。詳細は、[別のビデオソースに切り替える](#)を参照してください。

## 別のビデオソースに切り替える

デフォルトにより、ファンクションキーは**入力**に設定されています。KVM が正しく接続されたら、ファンクションキーを押して選択可能な KVM ソースを切り替えることができます。



入力信号に関係なくディスプレイに USB Type-C (アップストリーム) を使用させるには、**メニュー > コーディング ブースター > CPU 切替器** を選択した後、**USB-C アップストリーム** を選択します。

## 同時に 2 つの入力源を表示する (PBP/PIP) (特定モデルのみ)

画面上に 2 つの入力源を同時に表示するには、ピクチャ・イン・ピクチャ (PIP) モードかピクチャバイピクチャ (PBP) モードに設定することができます。



PBP/PIP モードで各画面に別のカラーモードを適用するには、[55 ページの「同時に 2 つのカラー設定を表示する \(DualView Plus\) \(特定モデルのみ\)」](#) を参照してください。

### PBP モードでの映像信号の選択肢


1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **表示 > PBP** を選択します。
3. 各画面の信号を選択します。
4. **PBP > PBP レイアウト** を選択した後、画面を均等に分割するか (1:1)、1 つを大きく表示するか (3:1) を選択します。
5. **表示** で **スワップ** を選択して 2 つの入力源の位置を切り替えます。

### PIP モードでの映像信号選択

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **表示 > PIP** を選択します。
3. 各画面の信号を選択します。
4. **PIP サイズ** と **PIP の位置** を選択して、サブ画面のサイズ / 位置を選択します。
5. **表示** で **スワップ** を選択して 2 つの入力源の位置を切り替えます。

## 同時に 2 つのカラー設定を表示する (DualView Plus) (特定モデルのみ)

**DualView Plus** は、2 つの異なるカラーモードを同じ画面に表示することで、作業効率を飛躍的に高めることができます。この機能は、1 つの入力源または 2 つの入力源に対して有効です。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. カラーモードメニューからカラーモードを選択します。
3. コーディング ブースター > DualView Plus を選択します。2つ目のビューに別のカラーモードを選択します。

メインメニューを終了した後、それぞれの画面に対して選択したカラーモードが少しの間、画面に表示されます。





**DualView Plus** が有効の場合は、すべての設定はメイン入力源がベースになります。

## 接続した機器に USB-C™ ポートを介して充電する

モニター背面の USB-C™ ポートは、スタンバイモードでの給電に対応していますが、デフォルトでは無効になっています。USB-C™ ポート経由のビデオソースが検出された場合、モニターのスタンバイモードで USB-C™ パワーデリバリー機能を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。**はい**を選択して続行します。

システムの電源復帰がオンになっている場合は、通知なしで給電が開始されます。

USB-C™ ポートの最大電力供給量は、ポートごとに異なります。機器を正しく充電するためには、まず機器の充電仕様を確認し、適切な USB-C™ ポートが接続されていることを確認してください。

アイコン	給電
	90 W
	7.5 W

## Mac シリーズ製品で作業をする

Mac シリーズ製品にモニターを接続することができます。互換性は、お使いの Mac 製品に搭載されている Mac チップの性能と仕様に依存し、予告なく更新されることがありますのでご注意ください。

- モニターと Mac 製品を接続する場合は、Thunderbolt 3 または USB-C™ ケーブル（Mac とモニターの両方で利用可能な場合）で直接接続すると高画質の映像を投写することができます。詳細は、[26 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」](#)を参照してください。
- 色の違いを少なくするために、モニターのピクチャーモード（カラーモード）を **M-book**、**Display P3**、**DCI-P3**、モード（利用可能な場合）に設定することをお勧めします。詳細は、[67 ページの「カラーモードメニュー」](#)を参照してください。
- お使いのモニターが特定の BenQ ソフトウェアに対応している場合は、[www.BenQ.com](http://www.BenQ.com) のソフトウェアウェブページで、お使いの Mac 製品で動作するかどうかを確認してください。

Mac 製品との互換性についてのお問い合わせは、[Support.BenQ.com](http://Support.BenQ.com) にアクセスして、**FAQ** または **知識** から関連するトピックを探してください。

## メインメニューのナビゲート

モニターの設定はすべて OSD (On Screen Display) で行うことができます。◀▶を押すとメインメニューが開きます。詳細は、[44 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」](#)を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、[システムと OSD 設定の 73 ページの「言語」](#)を参照してください。

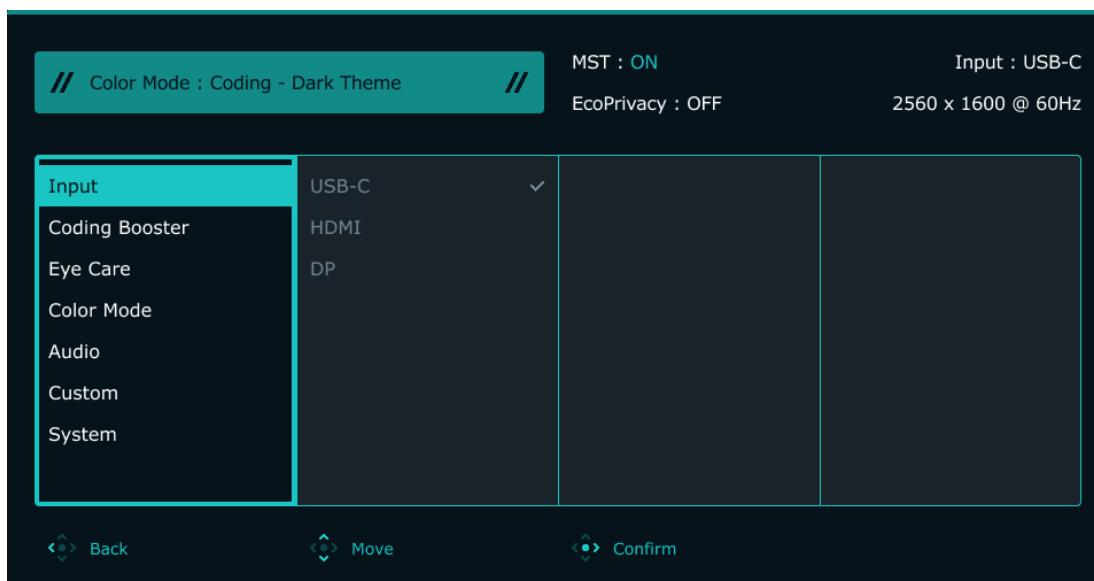
---

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- [58 ページの「入力メニュー（特定モデルのみ）」](#)
- [59 ページの「表示メニュー（特定モデルのみ）」](#)
- [62 ページの「コーディング ブースターメニュー」](#)
- [65 ページの「Eye Care メニュー」](#)
- [67 ページの「カラーモードメニュー」](#)
- [70 ページの「オーディオメニュー」](#)
- [71 ページの「カスタムメニュー」](#)
- [72 ページの「システムメニュー」](#)

## 入力メニュー（特定モデルのみ）

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

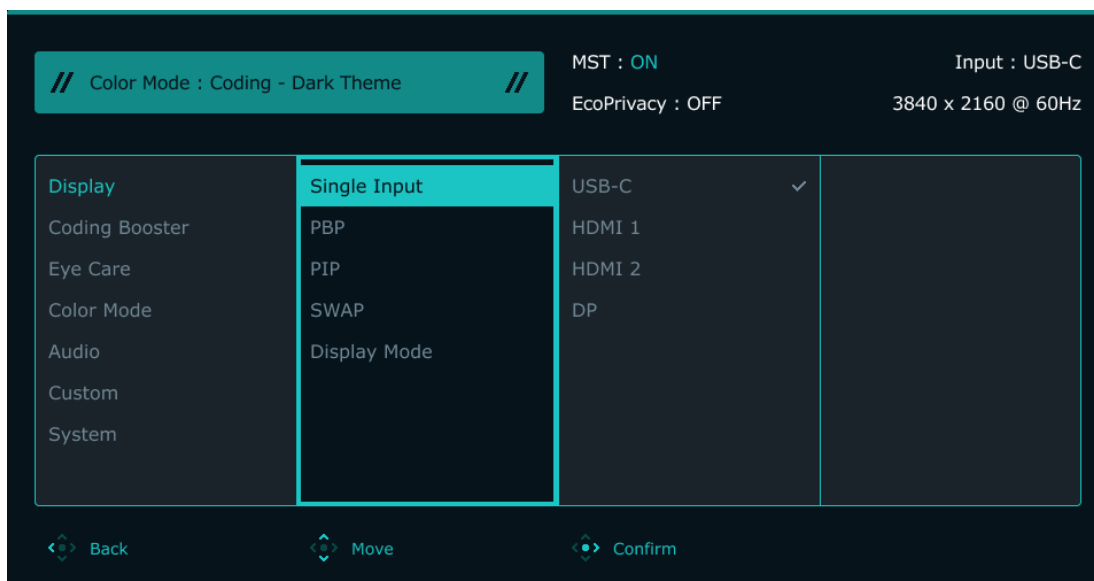


1. ◀▶を押すとメインメニューが開きます。
2. ◀▶ または ▶◀ を使って**入力**を選択します。
3. ▶◀ を選択してサブメニューを開き、◀▶ または ▶◀ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▶◀ または ▶◀ を使用して調整を行うか、◀▶ を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、◀▶ を選択します。
6. メニューを終了するには、▶◀ を選択します。

アイテム	機能	範囲
入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	• <b>USB-C</b> • <b>HDMI</b> • <b>DP</b>




## 表示メニュー（特定モデルのみ）


選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ◀▶を押すとメインメニューが開きます。
2. ◀▶ または ▶◀ を使って**表示**を選択します。
3. ▶◀ を選択してサブメニューを開き、◀▶ または ▶◀ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▶◀ または ▶◀ を使用して調整を行うか、◀▶ を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、▶◀ を選択します。
6. メニューを終了するには、◀▶ を選択します。

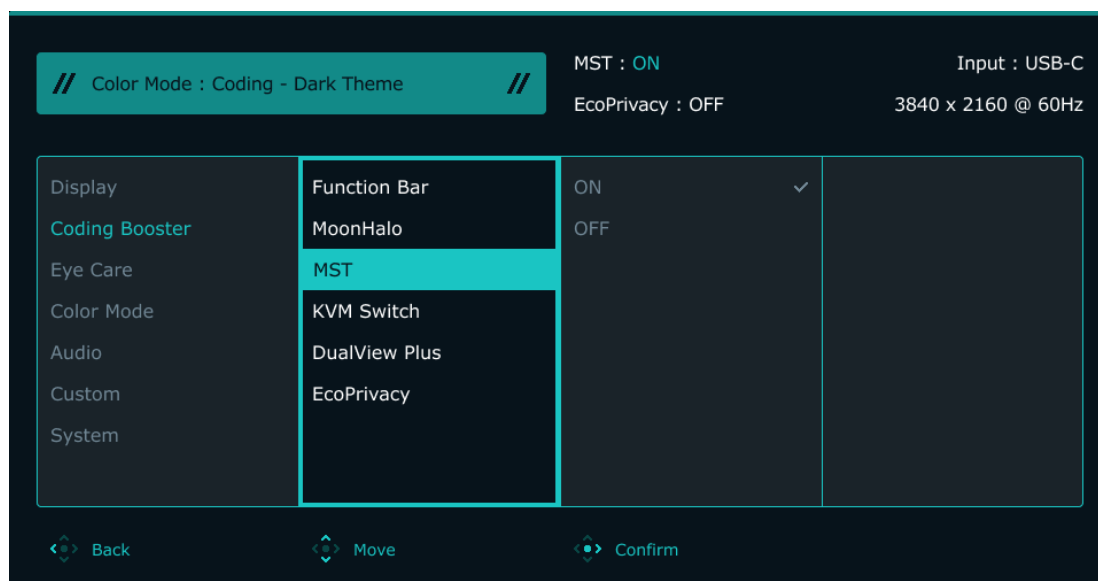
アイテム	機能	範囲
信号入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>USB-C</b></li> <li>• <b>HDMI 1</b></li> <li>• <b>HDMI 2</b></li> <li>• <b>DP</b></li> </ul>

アイテム	機能		範囲
<b>PBP</b>	2つの画像が横に並べて表示されるように PBP モードを設定します。左右の画面の映像信号をそれぞれ決定します。  HDR 機能が有効になっているときには推奨しません。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・左</li> <li>・右</li> </ul>
	<b>左</b>	左側に表示される入力を決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ USB-C</li> </ul>
	<b>右</b>	右側に表示される入力を決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDMI 1</li> <li>・ HDMI 2</li> <li>・ DP</li> </ul>
	<b>PBP レイアウト</b>	2つの画面の比率を決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1:1</li> <li>・ 3:1</li> </ul>
<b>PIP</b>	PIP モードを設定します。2つの独立したビデオソースの画像も同時に画面に表示されます。  PIP モードになっているときには、メインソースからのオーディオが出力されます。  HDR 機能が有効になっているときには推奨しません。		
	<b>主</b>	メインの映像信号を決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ USB-C</li> </ul>
	<b>副</b>	PIP モードの2つめの映像信号を決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDMI 1</li> <li>・ HDMI 2</li> <li>・ DP</li> </ul>
	<b>PIP サイズ</b>	PIP モードでの内側の画面のサイズを決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小</li> <li>・ 中</li> <li>・ 大</li> </ul>
	<b>PIP の位置</b>	PIP モードでの内側の画面の位置を調整します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右上</li> <li>・ 左上</li> <li>・ 右下</li> <li>・ 左下</li> </ul>
<b>スワップ</b>	メインソースと2番目のソースの映像は、入れ替えることができます。		

アイテム	機能	範囲
<b>画面モード</b>	<p>この機能は、ネイティブの縦横比以外の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。</p> <p> 入力信号によって、画面モードの中のオプションが変わります。</p>	
	<p><b>全画面</b> 入力画像を画面に合わせて表示させます。ネイティブの縦横比にぴったり合う画像に適しています。</p>	
	<p><b>縦横比</b> 入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。</p>	


## コーディングブースターメニュー


選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使ってコーディングブースターを選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

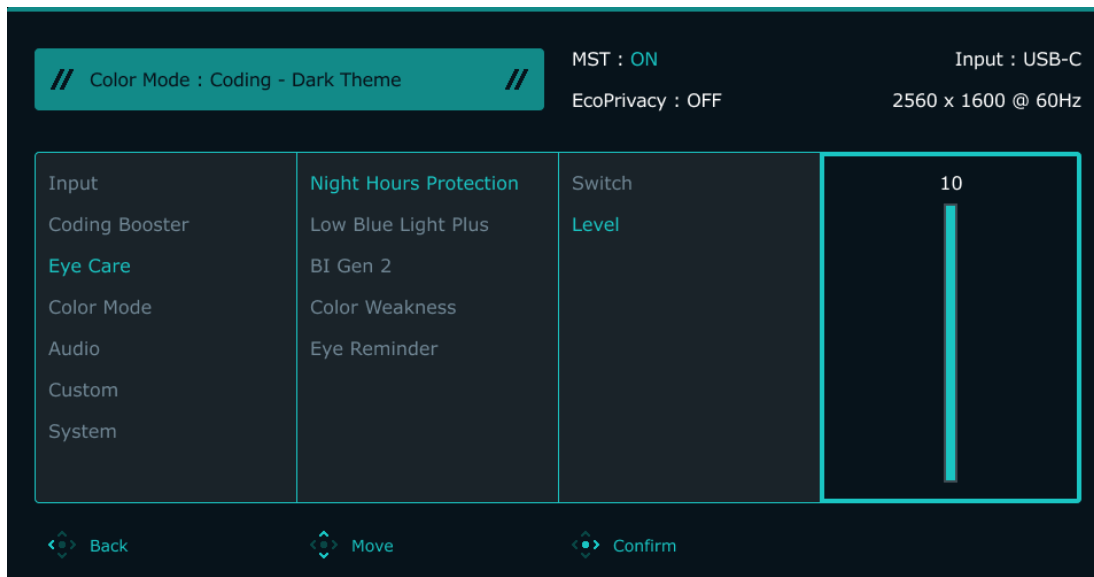
アイテム	機能	範囲
ファンクションバー	ファンクションバーの LED 表示を調整します。	
	<b>電源キー LED</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>
	<b>LED インジケータ</b> LED 表示は 夜間プロテクション、ブルーライト軽減プラス、B.I. Gen2 に対応します。LED 表示は、対応する機能がオンになると点灯します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 秒</li> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>

アイテム	機能	範囲
<b>MoonHalo</b> (特定モデルのみ)	この機能は、表示環境の照明を調和させるために、内蔵モニターのバックライトを点灯させます。 詳細は、 <a href="#">47 ページの「MoonHalo を使用する (特定モデルのみ)」</a> を参照してください。	
	<b>切り替え</b>	・自動調光 ・オン ・オフ
	<b>輝度</b>	・1 ~ 10
	<b>色温度</b>	・1 ~ 7
	<b>ライトモード</b>	・360° ・270°
	<b>ノンストップモード</b>	・オン ・オフ
<b>MST</b>	複数のモニターをデジーチェーン接続している状態でデータを転送できます。 詳細は、 <a href="#">52 ページの「MST (マルチストリーム転送) を使って複数のモニターを接続する」</a> を参照してください。  入力ソースが DP か USB-C™ の場合にのみ使用できます。 Macbook シリーズでは、この機能は使用いただけません。	・オン ・オフ
<b>CPU 切替器</b> (特定モデルのみ)	キーボードとマウスの制御を異なる入力で切り替えます。 詳細は、 <a href="#">54 ページの「キーボード、マウス、その他の USB 周辺機器を KVM と共有させる (特定モデルのみ)」</a> を参照してください。	
	<b>自動</b>	USB ポートは、入力信号が切り替わると自動的に切り替えられます。
	<b>USB-C アップストリーム</b>	入力信号に関係なく、USB Type-C (アップストリーム) が有効になります。

アイテム	機能	範囲
<b>DualView Plus</b> (特定モデルのみ)	<p>サブ画面のカラーモードを選択します。</p> <p>これを有効にすると、メインの画面に<b>カラーモード</b>から選択したモードが表示され、サブ画面にはここで指定したモードが表示されます。</p> <p> <b>DualView Plus</b> が有効の場合は、すべての設定はメイン入力源がベースになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディング-暗いテーマ</li> <li>・コーディング-明るいテーマ</li> <li>・M-book</li> <li>・シネマ</li> <li>・ゲーム</li> <li>・HDR</li> <li>・ePaper</li> <li>・sRGB</li> <li>・ユーザー</li> <li>・オフ</li> </ul>
<b>EcoPrivacy</b>	<p>この機能は無作動状態になるとモニターを暗くして省エネを実行し、スクリーンプライバシーを保護します。内蔵された接近センサーはあらかじめ設定された範囲内であなたの存在を検出します。</p> <p>詳細は、<a href="#">48 ページの「スクリーンプライバシーの保護 (EcoPrivacy)」</a>を参照してください。</p> <p><b>アクティベーション時間</b></p> <p><b>感度センサー</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5 秒</li> <li>・10 秒</li> <li>・20 秒</li> <li>・30 秒</li> <li>・60 秒</li> <li>・オフ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近い</li> <li>・中央</li> <li>・遠い</li> </ul>

## Eye Care メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



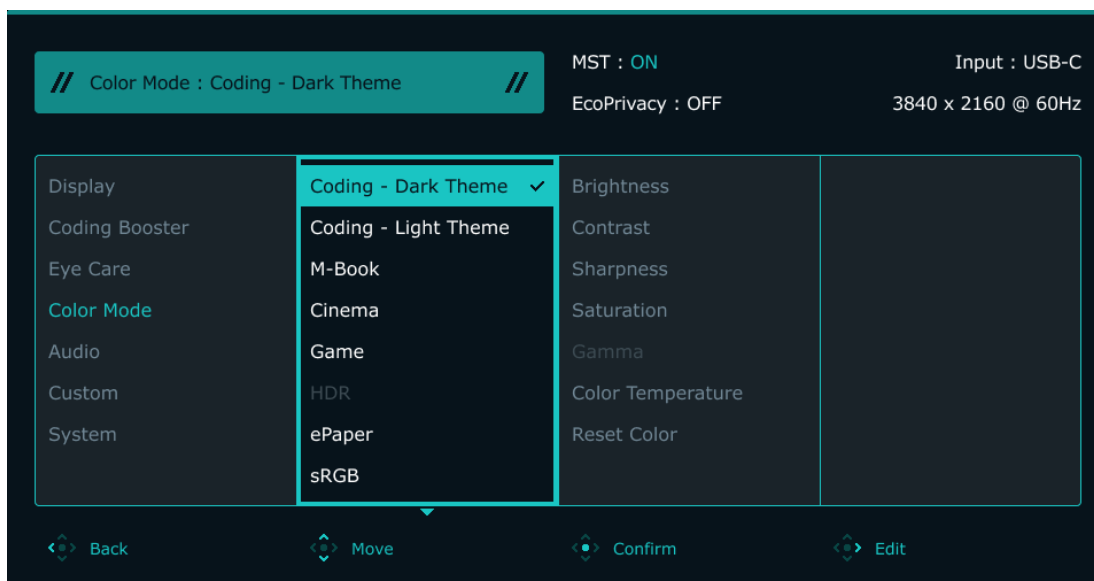
1. ◀▶を押すとメインメニューが開きます。
2. ◀▶ または ▶▶ を使って **Eye Care** を選択します。
3. ▶▶ を選択してサブメニューを開き、◀▶ または ▶▶ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▶▶ または ▶▶ を使用して調整を行うか、◀▶ を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、◀▶ を選択します。
6. メニューを終了するには、◀▶ を選択します。

アイテム	機能	範囲	
夜間プロテクション	非常に暗い環境において、目を保護するためにスクリーンの輝度を最小化します。 詳細は、 <a href="#">48 ページの「夜間プロテクションで作業をする」</a> を参照してください。		
	切り替え	非常に暗い環境においては、この機能をオンにするかどうかを質問するメッセージが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動切換</li> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>
	レベル	値を上げるほど効果が強くなります。	1 ~ 10
ブルーライト軽減プラス	目にブルーライトがあまり当たらないように、ディスプレイのブルーライトを軽減します。 詳細は、 <a href="#">49 ページの「ブルーライト軽減プラスで作業をする」</a> を参照してください。	0 ~ 5	

アイテム	機能		範囲
<b>B.I. Gen2</b>	Brightness Intelligence Gen2 機能をオンまたはオフにします。内蔵の光線センサーは、輝度自動調整技術と合わせて環境照明、画像の輝度、コントラストを検出し、スクリーンを自動的に調整します。詳細は、49 ページの「画面の輝度の自動調整 (Brightness Intelligence Gen2)」を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>
	<b>光量メーター</b>	モニター画面にスクリーン周辺の照明状況を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>
	<b>感度センサー</b>	内蔵センサーの感度を調整します。	0 ~ 10
<b>Color Weakness</b>	色覚に障がいのある方が容易に色を識別できるように、カラーマッチを調整します。		
	<b>赤フィルタ</b>	赤フィルタが再現する効果を定義します。値を上げるほど効果が強くなります。	0 ~ 10
	<b>緑フィルタ</b>	緑フィルタが再現する効果を定義します。値を上げるほど効果が強くなります。	0 ~ 10
<b>アイリマインダー</b>	内蔵された接近センサーに、あらかじめ設定された範囲内でのあなたの存在を検出させます。センサーが設定した時間を超えてあなたを検出すると、目を休めるようメッセージが表示されます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフ</li> <li>・30分</li> <li>・45分</li> <li>・60分</li> </ul>

## カラーモードメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ◀▶を押すとメインメニューが開きます。
2. ◀▶ または ▶◀ を使ってカラーモードを選択します。
3. ▶◀ を選択してサブメニューを開き、◀▶ または ▶◀ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▶◀ または ▶◀ を使用して調整を行うか、◀▶ を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、▶◀ を選択します。
6. メニューを終了するには、▶◀ を選択します。

アイテム	機能
コーディング - 暗いテーマ	暗いテーマでのコーディング環境 (IDE) 向けです。
コーディング - 明るいテーマ	明るいテーマでのコーディング環境 (IDE) 向けです。
M-book	モニターと接続した MacBook シリーズの視覚的差異を最小化します。
シネマ	動画を見るときに使用します。画像の鮮明さや色の鮮やかさを高めるために、コントラストと彩度を向上させます。
ゲーム (特定モデルのみ)	ビデオゲーム用です。

アイテム	機能
<b>HDR</b>	High Dynamic Range (HDR) テクノロジーで最高のカラーマッチングを実現します。
<b>ePaper</b>	画面の輝度と見やすい文字が特徴のモノクロの電子書籍やドキュメントを読むためのモードです。
<b>sRGB</b>	プリンター、デジタルカメラなどの周辺機器とのカラーマッチングを実現します。
<b>ユーザー</b>	ユーザー定義による画像設定の組み合わせを適用します。

## 各カラーモードにカスタマイズする

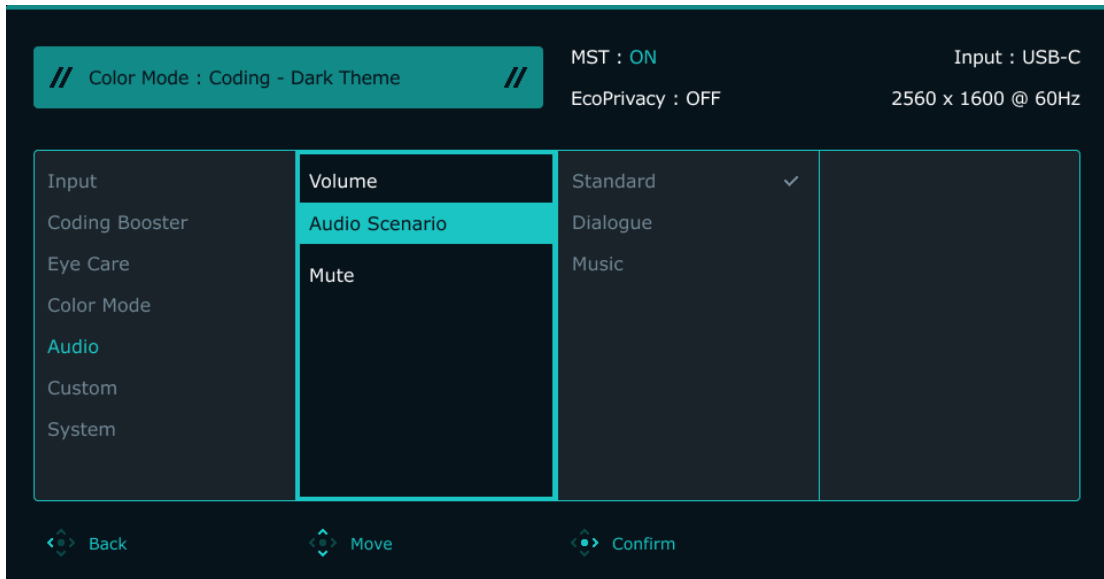
異なるカラーモードではカラー設定をさらに詳しく設定することができます。カラーモード毎に選択可能なオプションは変わります。

アイテム	機能	範囲
<b>輝度 / 輝度 (B.I. オン)</b>	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。 <b>輝度 (B.I. オン)</b> は、B.I. Gen2 機能が有効なときに利用可能。詳細は、 <a href="#">49 ページの「画面の輝度の自動調整 (Brightness Intelligence Gen2)」</a> を参照してください。	0 から 100
<b>コントラスト</b>	暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。	0 から 100
<b>シャープネス</b>	被写体の鮮明さを調整します。	1 から 10
<b>彩度</b>	色の純度を調整します。	0 から 10
<b>ガンマ</b>	トーンの輝度を調整します。デフォルト値は <b>3</b> (Windows の標準値) です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1</li> <li>• 2</li> <li>• 3</li> <li>• 4</li> <li>• 5</li> </ul>

アイテム	機能		範囲
色温度	標準	ビデオや静止画を自然な色で表示させます。これは工場出荷時の標準値になっています。	
	薄青	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	
	薄赤	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。	
	ユーザー設定	赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることで、画像の色合いを変更します。次に赤 (R)、緑 (G)、青 (B) メニューに進み、設定を変更します。  この値を下げると画像の各色が変わります。(たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤 (0~100)</li> <li>・緑 (0~100)</li> <li>・青 (0~100)</li> </ul>
色のリセット	カスタム設定色をデフォルト値に戻します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい</li> <li>・いいえ</li> </ul>

## オーディオメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

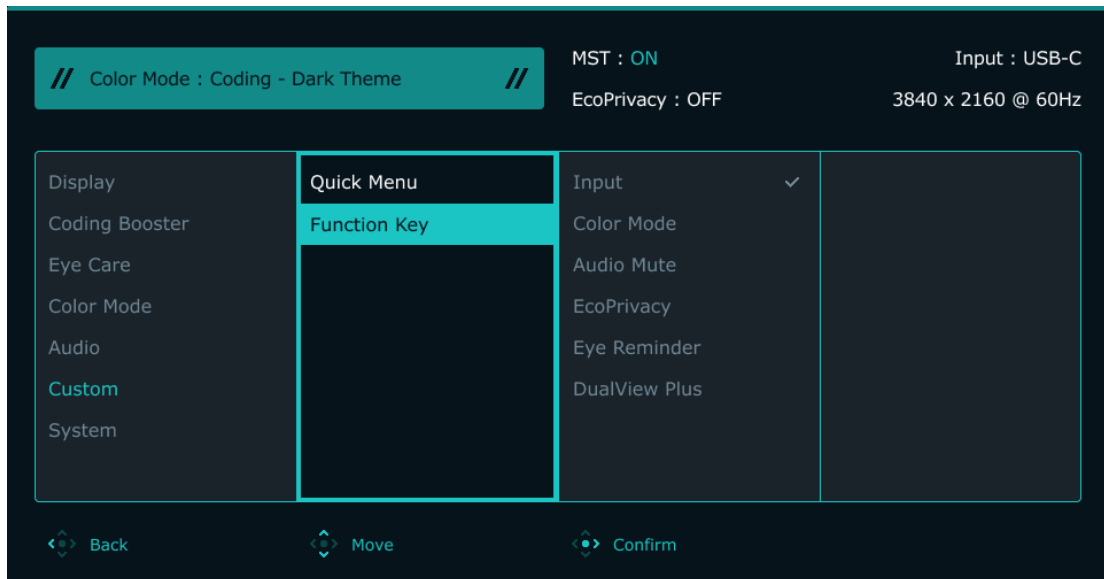


1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使ってオーディオを選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲	
音量調整	音量を調整します。	0 ~ 50	
音声シナリオ	特定の環境に最も合ったオーディオ効果を実現するイコライザを選択します。		
	<b>標準</b>	特定の状況を考慮せずに使用する場合、すべての設定がバランス良く調整されます。	
	<b>ダイアログ</b>	ノイズを除去して音の明瞭さを高めます。	
	<b>音楽</b>	音楽とボーカルのハーモニーを最適に保ちます。	
ミュート	音量をオン / オフにします。	・オン ・オフ	

## カスタムメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

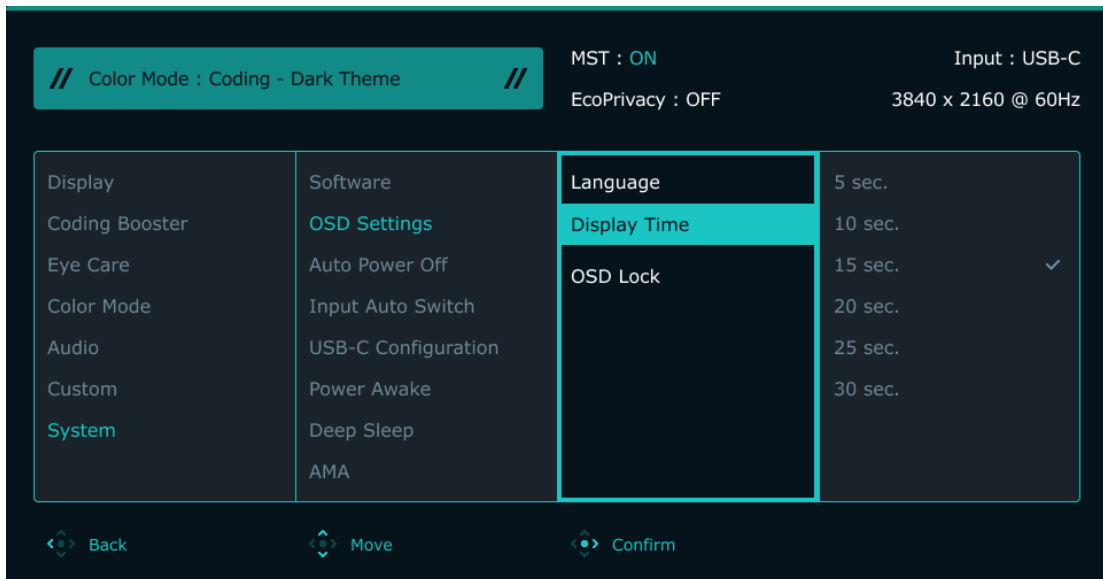


1. ◀️を押すとメインメニューが開きます。
2. ▶️ または ⏪ を使って**カスタム**を選択します。
3. ▶️ を選択してサブメニューを開き、◀️ または ⏪ を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ▶️ または ⏪ を使って調整するか、⏩ を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、◀️ を選択します。メニューを終了するには、終了キーを押します。

アイテム	機能	範囲
<b>クイックメニュー</b>	クイックメニューでアクセスできる機能を設定します。このキーでアクセスできるオプションを2個から4個の範囲で選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輝度</li> <li>・コントラスト</li> <li>・シャープネス</li> <li>・ブルーライト軽減プラス</li> <li>・夜間プロテクション</li> </ul>
<b>ファンクションキー</b>	ファンクションキーでアクセスできる機能を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力</li> <li>・カラーモード</li> <li>・ミュート</li> <li>・EcoPrivacy</li> <li>・アイリマインダー</li> <li>・DualView Plus (特定モデルのみ)</li> </ul>

## システムメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。






1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使って**システム**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
ソフトウェア	Display Pilot 2 の QR コードを表示します。ソフトウェアのダウンロードページにクイックアクセスするためにスキャンします。	

アイテム	機能		範囲
<b>OSD 設定</b>	<b>言語</b>	OSD メニューの言語を選択します。  本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• English</li> <li>• Français</li> <li>• Deutsch</li> <li>• Italiano</li> <li>• Español</li> <li>• Polski</li> <li>• Český</li> <li>• Magyar</li> <li>• Română</li> <li>• Nederlands</li> <li>• Русский</li> <li>• Svenska</li> <li>• Português</li> <li>• 日本語</li> <li>• 繁體中文</li> <li>• 简体中文</li> <li>• العربية</li> <li>• 한국어</li> </ul>
	<b>表示時間</b>	OSD メニューの表示時間を調整します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5 秒</li> <li>• 10 秒</li> <li>• 15 秒</li> <li>• 20 秒</li> <li>• 25 秒</li> <li>• 30 秒</li> </ul>
	<b>OSD ロック</b>	モニター設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。  OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 5 秒間押し続けてください。	
<b>自動電源オフ</b>	省電力モードで、モニターが自動的にオフになるまでの時間を設定します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10 分</li> <li>• 20 分</li> <li>• 30 分</li> <li>• オフ</li> </ul>
<b>入力自動スキャン</b>	有効な入力ソースを自動的に検出します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ</li> </ul>

アイテム	機能	範囲	
<b>USB-C 構成</b>	USB-C™ ポートを介して入力ビデオのリフレッシュレートを設定します。USB 転送速度は、USB-C™ テクノロジーの制限によりその都度変わります。		
	(RD240Q)		
	<b>USB 3.2</b>	リフレッシュレート：2560 x 1440 @ 60Hz（ビデオソースに基づきます） USB 転送速度：5 Gbps	
	<b>USB 2.0</b>	リフレッシュレート：2560 x 1440 @ 60Hz USB 転送速度：480 Mbps	
	(RD280U/RD280UA)		
	<b>USB 3.2</b>	リフレッシュレート：3840 x 2160 @ 30Hz（ビデオソースに基づきます） USB 転送速度：5 Gbps	
	<b>USB 2.0</b>	リフレッシュレート：3840 x 2160 @ 60Hz USB 転送速度：480 Mbps	
	(RD320U/RD320UA)		
	<b>USB 3.2</b>	リフレッシュレート：3840 x 2160 @ 30Hz（ビデオソースに基づきます） USB 転送速度：10 Gbps	
<b>USB 2.0</b>	リフレッシュレート：3840 x 2160 @ 60Hz USB 転送速度：480 Mbps		
<b>電源復帰</b> (USB-C™ 搭載モデル)	この機能が無効に設定されている場合は、モニターがスタンバイモード中は USB-C™ ポートへの電源は供給されません。 モニターがスタンバイモード中も USB-C™ ポートに電源を供給し続けるには、 <b>オン</b> に設定してください。	・オン ・オフ	

アイテム	機能	範囲	
ディープスリープ	<p>ディープスリープ（省エネ）モードを有効 / 無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効にすると、電源ボタンを押すことによってモニターはディープスリープモードに入り、電力消費量は少なくなります。</li> <li>無効にすると、電源ボタンを押したときに、ディープスリープモードに入ることなくバックライトがオフになります。これにより、モニターはすばやく復帰でき、スリープモードから短時間で復元できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>	
AMA	LCD パネルのグレーレベルの応答時間を短縮化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム</li> <li>・高</li> <li>・オフ</li> </ul>	
バックライト操作	<p>（HDR 互換の入力の場合にのみ使用できます）有効にすると、HDR コンテンツを再生するときに、コンテンツと共にバックライトが大きく変わる際にモニターがちらつく場合があります。これは正常な現象です。この機能はいつでも無効にできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>	
DDC/CI	<p>PC のソフトウェアからモニター設定を行うことができます。</p> <p> Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI（Display Data Channel/Command Interface の略）は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニターコントロールからリモート診断を送信することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>	
画面モード （特定モデルのみ）	<p>この機能は、ネイティブの縦横比以外の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。</p> <p> 入力信号によって、画面モードの中のオプションが変わります。</p>		
	<p><b>全画面</b></p>	<p>入力画像をスクリーンに合わせて表示させます。ネイティブの縦横比にぴったり合う画像に適しています。</p>	
	<p><b>縦横比</b></p>	<p>入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。</p>	
Overscan	<p>入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。</p> <p> 入力ソースが HDMI の場合にのみ使用できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>	

アイテム	機能	範囲
<b>RGB PC 範囲</b>	カラスケールの範囲を決定します。接続した HDMI デバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動検出</li> <li>• RGB (0~255)</li> <li>• RGB (16~235)</li> </ul>
<b>解像度についての注意</b>	モニターが新しい入力ソースを検出したときに、推奨する解像度を表示するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ</li> </ul>
<b>情報</b>	モニターのプロパティ設定を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在の解像度</li> <li>• 最適解像度 (モニターに最適です)</li> <li>• HDR</li> <li>• モデル名</li> </ul>
<b>すべて元に戻す</b>	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• はい</li> <li>• いいえ</li> </ul>

# トラブルシューティング

## よくある質問 (FAQ)

### イメージング

- ❓ 画像がぼやける。
- ✔️ • ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

• VGA 延長ケーブルを使用しているときには、テスト用に延長ケーブルを外してください。画像の焦点が合っていることを確認してください。ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、最適な画像になるようにステップに従って調整してください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。
- ❓ ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合：
- ✔️ ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。ネイティブ解像度を選択します。
- ❓ ピクセル エラーが表示される。

一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合。
- ✔️ • LCD スクリーンをきれいに掃除してください。

• 電源のオン / オフを切り替え。

• モニターの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
- ❓ 画像が不自然な色で表示される。
- ✔️ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合。  
**カラー設定、色のリセット**を選択した後、**はい**を選択して色を初期値に戻します。  
それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
- ❓ 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。
- ✔️ ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

- ❓ モニターは最高解像度に設定されていますが、画像がまだ歪んでいる：
- ✔ 異なる入力ソースの画像は、モニターの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力信号を最高の状態で表示するには、**画面モード**機能を使って入力信号に合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、75 ページの「**画面モード**」を参照してください。
- ❓ 画像が片側に寄ってしまう。
- ✔ ウェブサイトから **Resolution（解像度）** ファイルをダウンロードします（3 ページの「**製品サポート**」を参照してください）。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ❓ スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがある：
- ✔
  - ・省電力機能を有効にして、コンピュータとモニターを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
  - ・画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

## LED インジケータ

- ❓ 電源 LED インジケータは白かオレンジ色です。
- ✔
  - ・LED が白く点灯しているときには、モニターの電源が入っています。
  - ・LED が白く点灯し、画面に**範囲外です**というメッセージが表示されている場合は、モニターがサポートしていない画面モードを使用しています。モニターがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。ウェブサイトから **Resolution（解像度）** ファイルをダウンロードします（3 ページの「**製品サポート**」を参照してください）。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
  - ・LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
  - ・LED がオフであれば、電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。
- ❓ ファンクションバーの LED インジケータが点灯しない。
- ✔
  - ・LED インジケータが **10 秒**または**オン**に設定されているか確認してください。詳細は、62 ページの「**LED インジケータ**」を参照してください。
  - ・アクセス可能なすべての機能が有効になっているかを確認してください。詳細は、65 ページの「**夜間プロテクション**」、65 ページの「**ブルーライト軽減プラス**」、66 ページの「**B.I. Gen2**」を参照してください。

## OSD コントロール

- ? OSD コントロールにアクセスできません。
- ✓ ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 5 秒間押し続けてください。

## OSD メッセージ

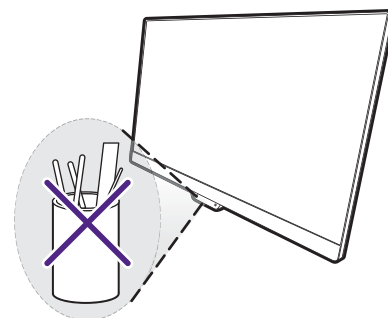
- ? コンピュータがブートアップする間、「**範囲外です**」というメッセージが表示される。
- ✓ コンピュータがブートアップする間、「**範囲外です**」というメッセージが表示される場合は、オペレーティングシステムまたはグラフィックカードがコンピュータと互換性の問題があることを意味しています。システムが自動的にリフレッシュレート进行调整します。オペレーティングシステムが起動するまでお待ちください。

## オーディオ

- ? 内蔵スピーカーから音が出ない。
- ✓
  - ・オーディオ信号を入力するためのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。詳細は、[26 ページの「ヘッドフォンを接続します。」](#)を参照してください。
  - ・音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
  - ・ヘッドフォンや外付けスピーカーを外してください。（それらがモニターに接続されている場合は、内蔵スピーカーは自動的に無音になります。）
- ? 内蔵スピーカーからの音が小さい、または不明瞭です。
- ✓
  - ・音量を上げてください（音量が小さすぎる可能性があります）。
  - ・内蔵スピーカーのノイズフィルター機能が無効になっていることを確認する。この機能は、音楽や動画の再生にはおすすめできません。ノイズフィルター機能を無効にするには、ノイズフィルタースピーカーキーを押して、ホットキーメニューから**オフ**を選択します。
- ? 外付けスピーカーから音が出ない。
- ✓
  - ・ヘッドフォンを外してください（モニターにヘッドフォンが接続されている場合）。
  - ・ヘッドフォンジャックが正しく接続されていることを確認してください。
  - ・外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
  - ・外付けスピーカーの音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
- ?（特定モデルのみ）内蔵マイクロフォンは、モニターが PC に接続されているときには応答しません。
- ✓
  - ・（USB-C™ 搭載モデル）信号通信と給電機能を持つ公式の USB-C™ ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
  - ・MIC の音量は**オーディオメニュー**から上げます。詳細は、[70 ページの「オーディオメニュー」](#)を参照してください。

## センサー（特定モデルのみ）

- ? モニターのライトセンサーが正常に機能しません。
- ✓ ライトセンサーはモニターの正面下にあります。次のことを確認してください：
  - ・センサー保護ステッカーを外してある場合。
  - ・Brightness Intelligence Gen2 機能が**オン**に設定されている場合。 **Eye Care > B.I. Gen2**を確認します。
  - ・センサーが照明を正確に検出するのを妨げる物体がモニターの前にないかどうか。
  - ・センサーの前に明るい色の物体または服がないかどうか。明るい色（特に白と蛍光色）は明かりを反射するため、センサーが主要な光源を検出できません。



- ? **EcoPrivacy** 機能が上手く機能しません。
- ✓ 想定したとおりに機能が作動しない場合は、内蔵された近接センサー固有の特性によるものと思われます。性能は素材、色、サイズ、近くにある物体（人の服など）の表面反射、位置、環境照明、感知角度など、さまざまな要素により変わります。つまり検出範囲および機能の作動性は、条件によって変わる可能性があることを意味しています。検出範囲を細かく調整するには、**コーディング ブースター > 感度センサー**からセンサーの近接度を調整することができます。

## MST 接続（USB-C および DisplayPort 出力搭載モデルのみ）

- ? MST 機能は使用できません。
- ✓
  - ・オンが**コーディング ブースター > MST**から選択されていることを確認します。
  - ・MSTについては、コンピュータのグラフィックカードがDP 1.4に対応していることを確認してください。
  - ・（特定モデルのみ）接続中にモニター画面が黒くなる場合は、**メニュー > システム > USB-C 構成**を選択した後、**USB 2.0**を選択します。
  - ・コンピュータの互換性は、ハードウェアやソフトウェアによって異なります。お使いのシステムをMSTに対応させるために、すべてのケーブル、仕様、設定を確認する必要があります。Macコンピュータをお使いの場合は、Windowsシステムでお試してください。MSTは、Thunderbolt接続でのみMac OSで使用できます。

## USB-C™ 接続（USB-C™ 搭載モデル）

- ? USB-C™ 接続ではラップトップから音声も画像も出力されない。
- ✓ ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
  - ・USB-C™ ケーブルがモニターとラップトップに正しく接続されているか確認してください。詳細は、[26 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」](#)を参照してください。
  - ・入力映像が**入力**で**USB-C**に選択されていることを確認してください。

## 夜間プロテクション

- ❓ 夜間プロテクションがクイックメニューでグレイ表示される
- ✔️ クイックメニューの**夜間プロテクション**の設定は、(1) 機能が**オフ**に設定されている場合か、(2) **自動切換**に設定されており、明るい環境においてアクティベートされていない場合はグレイ表示されます。
  - ・この機能が**オフ**に設定されている場合は、**メニュー > Eye Care > 夜間プロテクション > 切り替え**を選択して、この機能を**オン**に設定してください。
  - ・レベルを直接調整するには、**メニュー > Eye Care > 夜間プロテクション > レベル**を選択します。調整内容は、現在のカラーモードで保存されます。

## MoonHalo

- ❓ カラーモードを切り替えると、**MoonHalo** 設定が変わるのはなぜですか？
- ✔️ **MoonHalo** 設定は、カラーモード切替で保存、適用されます。詳細は、[51 ページの「調整可能な OSD 設定」](#)を参照してください。

## DualView Plus

- ❓ **DualView Plus** を使用しているときに第二入力源で**ブルーライト軽減プラス**または**B.I. Gen2**のような設定を調整できますか？
- ✔️ **DualView Plus** が有効の場合は、すべての設定はメイン入力源がベースになります。メインの入力のカラーモードを切り替えると、スクリーン全体の**夜間プロテクション**、**B.I. Gen2**、**ブルーライト軽減プラス**、**カラーユニバーサルモード**、**MoonHalo** の設定も調整されます。

## それでも解決できないときは

本書を確認して後も問題を解決できない場合は、購入された販売店にお問合せになるか、[support@benq.jp](mailto:support@benq.jp) をご覧になりサポートとカスタマーサービスをご確認の上、お問合せください。